

まちづくりアンケート調査 報告書

令和元年9月
月形町

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の概要	3
2. 調査票の回収結果	3
3. 集計結果の表し方	3
第2章 アンケート集計結果	5
1. 回答者の属性	7
(1) 回答者の性別	7
(2) 回答者の年齢	7
(3) 回答者の職業	7
(4) 回答者の居住地区	8
(5) 回答者の居住年数	8
2. 月形町への愛着度・定住意向	9
(1) 月形町への愛着度	9
(2) 月形町の魅力	11
(3) 月形町への定住意向	14
(4) 月形町に住みたくない理由	16
3. 月形町の取組について	19
(1) 現状の満足度	19
(2) 今後の重要度	22
(3) 評価点による評価	25
(4) 評価点による評価（年代別）	34
4. 日頃の行動などについて	48
(1) 環境に配慮した生活の実践	48
(2) ごみの減量化のための3R運動の実践	49
(3) 日頃の健康増進のための取組の実施	50
(4) 地域福祉活動の実施	51
(5) 広報「花と里つきがた」を読むこと	52
(6) 町のホームページを見たこと	53
5. 産業振興について	54
(1) 産業振興で力を入れるべき分野	54
(2) 観光・交流の振興に重要なこと	56
6. 少子化対策について	58
(1) 少子化対策として力を入れるべき分野	58
7. 高齢者福祉について	60
(1) 充実した老後を送るために大切なこと	60
(2) 町民が健康な生活を送るために大切なこと	62
8. コミュニティ活動、参画・協働について	64
(1) コミュニティ活動等への参加状況と今後の参加意向	64
(2) 参加したいコミュニティ活動等の種類	65
(3) 「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なこと	68
(4) 行政サービスや財政運営で特に進めていくべき項目	70

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

本調査は「月形町第4次総合振興計画後期基本計画」及び「第2期月形町創生総合戦略」を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	令和元年7月1日現在 一般向け：月形町に在住する18歳以上の町民1,000人
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和元年7月
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

2. 調査票の回収結果

■調査票の全体回収率

	配布数 (票)	有効配布数 (票)	回収数 (%)	白票 (票)	有効回収数 (票)	有効回収率 (%)
一般向け	1,000	995	313	0	313	31.5

3. 集計結果の表し方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（n）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- 過去に実施したアンケート調査との比較では、以下の表記を用いています。
 - ・「平成26年」：平成26年に報告したまちづくりアンケート調査結果（20歳以上の町民を対象として実施）
 - ・「令和元年」：今回調査（18歳以上の町民を対象として実施）

第2章 アンケート集計結果

1. 回答者の属性

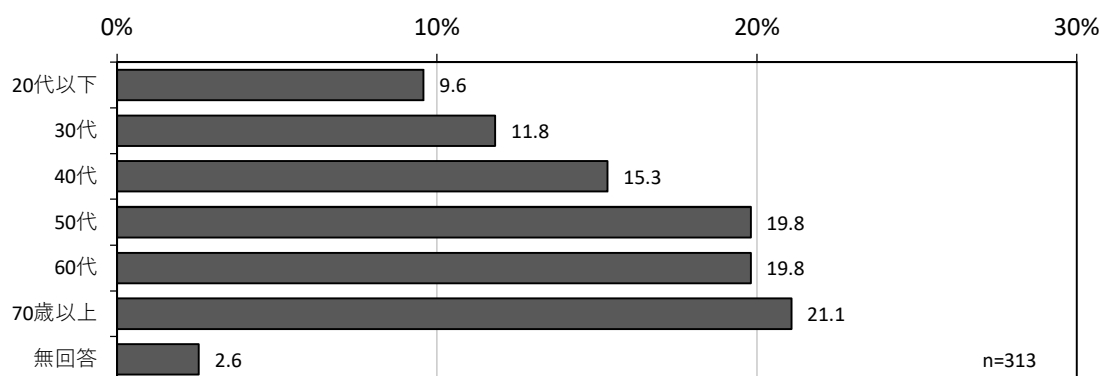
(1) 回答者の性別

回答者の性別は、男性が41.2%、女性が55.6%となっています。



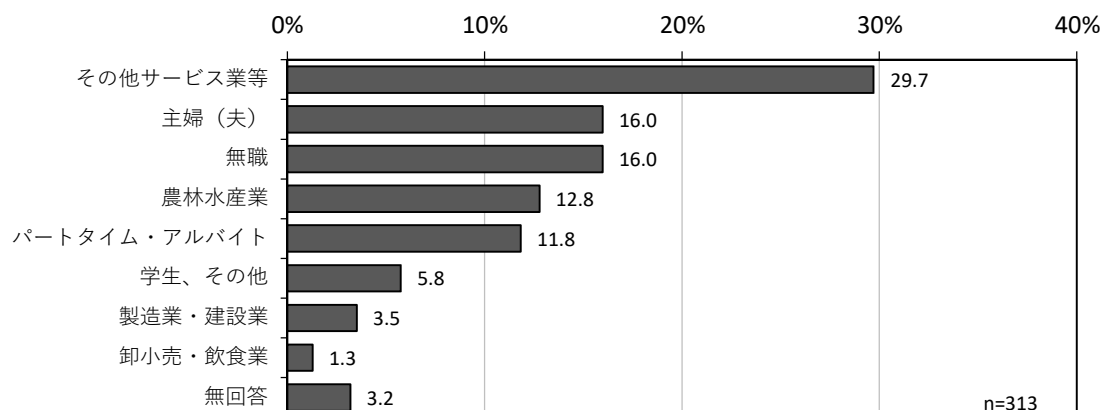
(2) 回答者の年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が21.1%で最も多く、次いで「50代」「60代」（ともに19.8%）、「40代」（15.3%）が続いています。



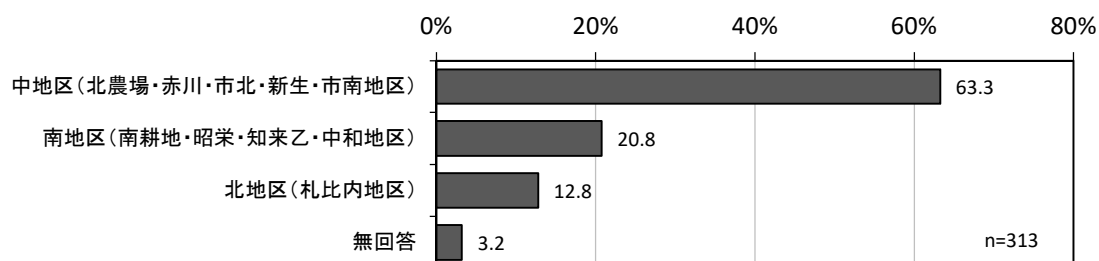
(3) 回答者の職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が29.7%で最も多く、次いで「主婦（夫）」「無職」（ともに16.0%）、「農林水産業」（12.8%）が続いています。



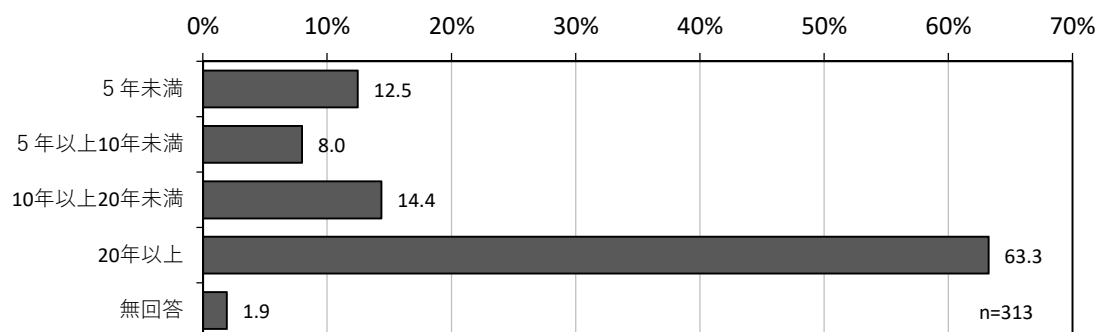
(4) 回答者の居住地区

回答者の居住地区は、「中地区（北農場・赤川・市北・新生・市南地区）」が63.3%で最も多く、次いで「南地区（南耕地・昭栄・知来乙・中和地区）」（20.8%）、「北地区（札比内地区）」（12.8%）となっています。



(5) 回答者の居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」が63.3%で最も多く、次いで「5年未満」（12.5%）、「10年以上20年未満」（14.4%）が続いています。

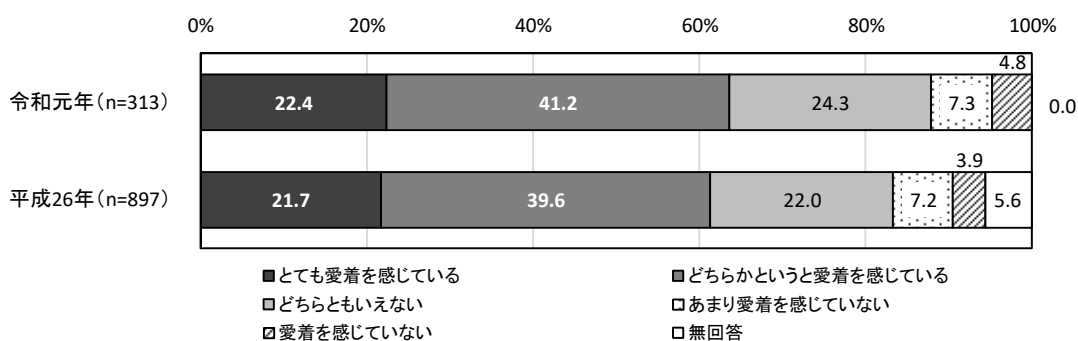


2. 月形町への愛着度・定住意向

(1) 月形町への愛着度

町への愛着度を「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計（63.6%）と、「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」の合計（12.1%）でみると、町に愛着を感じている方が多い状況です。平成26年調査と比べても大きな差異はみられません。

問1 あなたは、月形町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（1つに○印）



男女別・年齢階級別の集計

○男女別に「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計をみると、男女ともに約60%で大きな差異はみられません。

○年齢階級別に「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計をみると、40代以上は愛着を感じている方が70%前後と多くなっていますが、30代においては27.0%と極端に少なくなっています。

		n	とても愛着を感じている	どちらかというとな愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	無回答
全体		313	22.4	41.2	24.3	7.3	4.8	0.0
性別	男性	129	20.9	40.3	26.4	7.8	4.7	0.0
	女性	174	23.0	42.0	23.6	6.9	4.6	0.0
年齢	20代以下	30	23.3	30.0	36.7	6.7	3.3	0.0
	30代	37	5.4	21.6	32.4	21.6	18.9	0.0
	40代	48	22.9	50.0	16.7	8.3	2.1	0.0
	50代	62	21.0	48.4	21.0	8.1	1.6	0.0
	60代	62	22.6	43.5	29.0	1.6	3.2	0.0
	70歳以上	66	33.3	42.4	15.2	4.5	4.5	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別に「とても愛着を感じている」「どちらかという愛着を感じている」の合計をみると、5年以上10年未満は愛着のある人が非常に少なく32.0%となっています。

(%)

		n	とても愛着を感じている	どちらかという愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	無回答
全 体		313	22.4	41.2	24.3	7.3	4.8	0.0
居住年数	5年未満	39	15.4	28.2	25.6	20.5	10.3	0.0
	5年以上 10年未満	25	8.0	24.0	40.0	20.0	8.0	0.0
	10年以上 20年未満	45	13.3	42.2	33.3	6.7	4.4	0.0
	20年以上	198	28.3	44.9	20.2	3.0	3.5	0.0

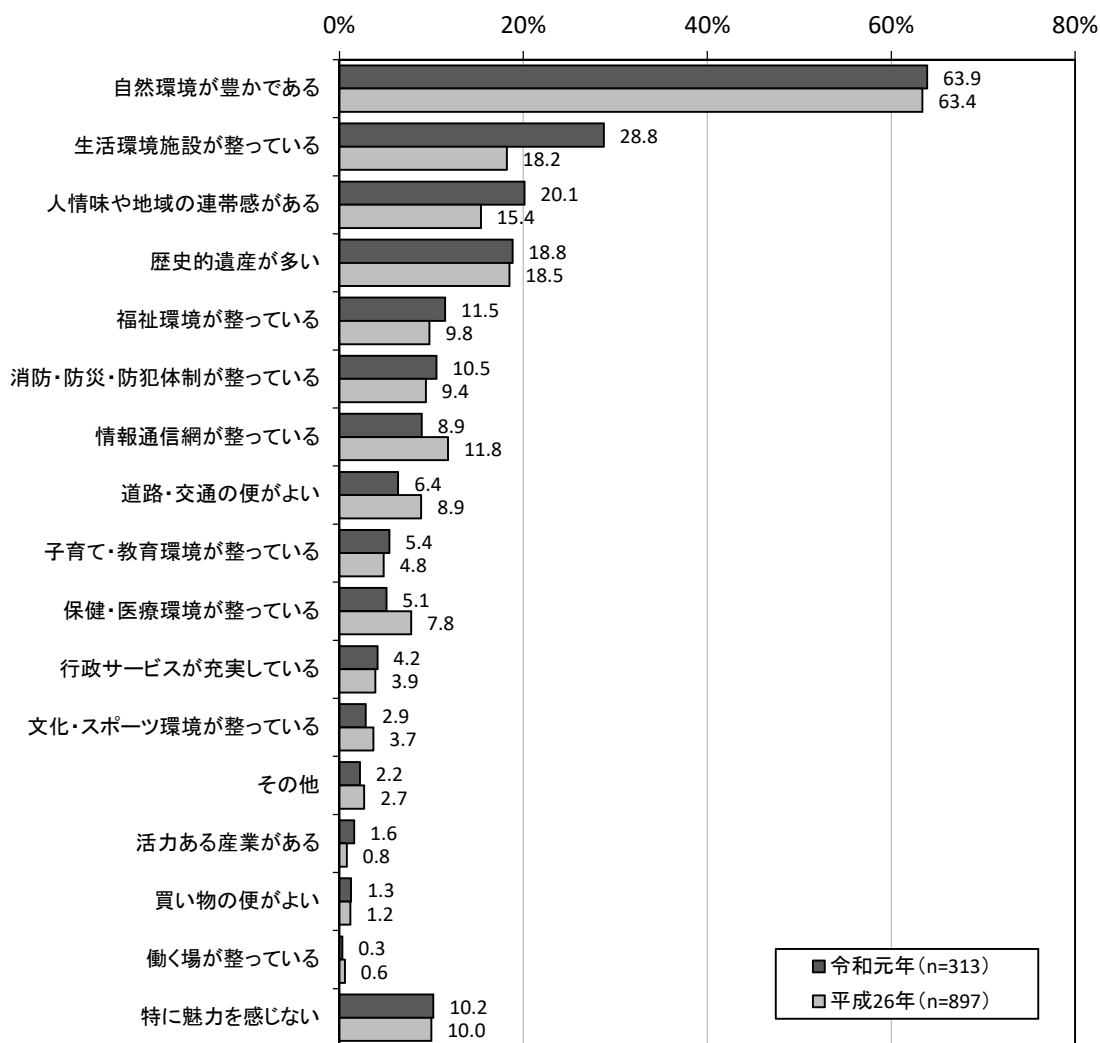
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 月形町の魅力

月形町の魅力をうかがったところ、「自然環境が豊かである」が63.9%で最も多く、次いで「生活環境施設が整っている」(28.8%)、「人情味や地域の連帯感がある」(20.1%)で続いています。

平成26年調査と比べると、「生活環境施設が整っている」が10.6ポイント、「人情味や地域の連帯感がある」が4.7ポイント増加しています。

問2 あなたは、月形町はどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、おおむね同じ傾向となっていますが、女性の方が男性に比べてそれぞれの割合がやや多い状況です。

○年齢階級別でみると、40代、60代は「歴史的遺産が多い」がおよそ30%で他の年代に比べて多くなっています。

(%)

		n	自然環境が豊かである	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	道路・交通の便がよい	情報通信網が整っている	消防・防災・防犯体制が整っている	保健・医療環境が整っている
全体		313	63.9	28.8	6.4	8.9	10.5	5.1
性別	男性	129	62.0	24.8	6.2	6.2	14.0	3.1
	女性	174	64.9	31.6	6.3	10.3	8.6	6.3
年齢	20代以下	30	73.3	26.7	16.7	3.3	6.7	3.3
	30代	37	59.5	8.1	5.4	5.4	5.4	2.7
	40代	48	75.0	12.5	4.2	12.5	12.5	2.1
	50代	62	69.4	25.8	3.2	3.2	11.3	3.2
	60代	62	66.1	35.5	1.6	12.9	9.7	3.2
	70歳以上	66	48.5	53.0	10.6	12.1	15.2	13.6

		n	福祉環境が整っている	子育て・教育環境が整っている	文化・スポーツ環境が整っている	歴史的遺産が多い	活力ある産業がある	買い物の便がよい
全体		313	11.5	5.4	2.9	18.8	1.6	1.3
性別	男性	129	8.5	5.4	2.3	20.2	1.6	0.8
	女性	174	13.8	5.7	3.4	17.8	1.7	1.7
年齢	20代以下	30	16.7	6.7	3.3	13.3	0.0	3.3
	30代	37	5.4	10.8	2.7	8.1	0.0	0.0
	40代	48	10.4	12.5	0.0	25.0	2.1	4.2
	50代	62	8.1	3.2	3.2	21.0	3.2	0.0
	60代	62	11.3	3.2	1.6	27.4	1.6	0.0
	70歳以上	66	18.2	1.5	4.5	13.6	1.5	1.5

		n	働く場が整っている	人情味や地域の連帯感がある	行政サービスが充実している	特に魅力を感じない	その他	無回答
全体		313	0.3	20.1	4.2	10.2	2.2	1.6
性別	男性	129	0.8	14.7	7.0	14.0	2.3	0.8
	女性	174	0.0	24.1	2.3	6.9	2.3	2.3
年齢	20代以下	30	0.0	16.7	3.3	0.0	0.0	0.0
	30代	37	0.0	13.5	2.7	18.9	8.1	2.7
	40代	48	0.0	12.5	2.1	16.7	2.1	0.0
	50代	62	0.0	25.8	4.8	11.3	1.6	1.6
	60代	62	1.6	21.0	3.2	6.5	1.6	3.2
	70歳以上	66	0.0	27.3	7.6	4.5	1.5	1.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別でみると、5年未満は「子育て・教育環境が整っている」が他の年代に比べて最も多くなっています。

(%)

		n	自然環境が豊かである	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	道路・交通の便がよい	情報通信網が整っている	消防・防災・防犯体制が整っている	保健・医療環境が整っている
全 体		313	63.9	28.8	6.4	8.9	10.5	5.1
居住年数	5年未満	39	69.2	10.3	10.3	5.1	10.3	2.6
	5年以上10年未満	25	64.0	0.0	4.0	8.0	8.0	0.0
	10年以上20年未満	45	64.4	20.0	11.1	6.7	4.4	4.4
	20年以上	198	61.6	38.4	5.1	10.6	12.6	6.6

		n	福祉環境が整っている	子育て・教育環境が整っている	文化・スポーツ環境が整っている	歴史的遺産が多い	活力ある産業がある	買い物の便がよい
全 体		313	11.5	5.4	2.9	18.8	1.6	1.3
居住年数	5年未満	39	12.8	17.9	5.1	17.9	2.6	0.0
	5年以上10年未満	25	8.0	8.0	8.0	8.0	0.0	0.0
	10年以上20年未満	45	17.8	4.4	2.2	20.0	0.0	4.4
	20年以上	198	10.6	3.0	2.0	20.2	2.0	1.0

		n	働く場が整っている	人情味や地域の連帯感がある	行政サービスが充実している	特に魅力を感じない	その他	無回答
全 体		313	0.3	20.1	4.2	10.2	2.2	1.6
居住年数	5年未満	39	0.0	20.5	5.1	10.3	0.0	2.6
	5年以上10年未満	25	0.0	20.0	4.0	20.0	8.0	0.0
	10年以上20年未満	45	0.0	17.8	0.0	11.1	4.4	2.2
	20年以上	198	0.5	21.2	4.5	9.1	1.5	1.5

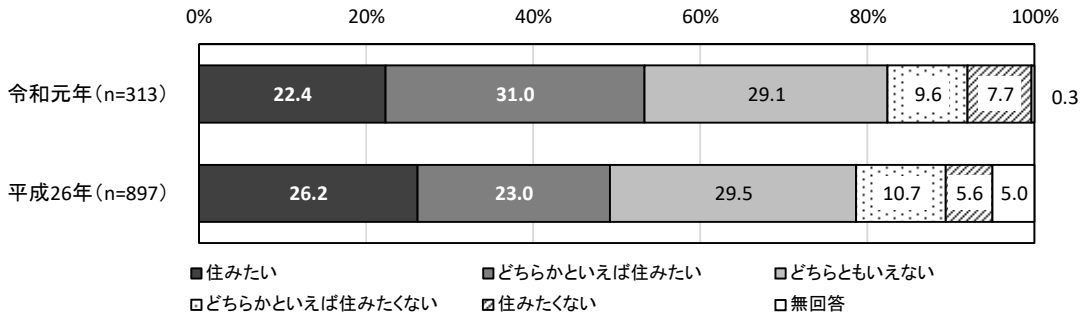
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 月形町への定住意向

今後の定住意向は、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計が53.4%、「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」の合計が17.3%となっています。

平成26年調査と比べると、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計が4.2ポイント増加しています。

問3 あなたは、これからも月形町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別に「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計でみると、男性は58.1%、女性は50.0%で男性の方がやや多くなっています。

○年齢階級別に同様の割合でみると、40代以上は半数以上が住み続けたいと回答しており、特に70歳以上は71.2%を占めています。

		n	住みたい	どちらかといえば住みたい	どちらともいえない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない	無回答
全体		313	22.4	31.0	29.1	9.6	7.7	0.3
性別	男性	129	22.5	35.7	25.6	10.1	6.2	0.0
	女性	174	21.8	28.2	31.6	9.2	8.6	0.6
年齢	20代以下	30	13.3	33.3	33.3	10.0	10.0	0.0
	30代	37	5.4	35.1	29.7	16.2	13.5	0.0
	40代	48	22.9	27.1	33.3	10.4	6.3	0.0
	50代	62	21.0	32.3	25.8	11.3	8.1	1.6
	60代	62	21.0	30.6	35.5	4.8	8.1	0.0
	70歳以上	66	40.9	30.3	16.7	7.6	4.5	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別に「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計でみると、5年未満と5年以上10年未満ではどちらも40%を下回っている状況です。

(%)

		n	住みたい	どちらかといえば住みたい	どちらともいえない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない	無回答
全 体		313	22.4	31.0	29.1	9.6	7.7	0.3
居住年数	5年未満	39	7.7	28.2	41.0	20.5	2.6	0.0
	5年以上 10年未満	25	8.0	24.0	28.0	20.0	20.0	0.0
	10年以上 20年未満	45	20.0	33.3	31.1	2.2	13.3	0.0
	20年以上	198	28.3	32.3	25.3	8.1	5.6	0.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

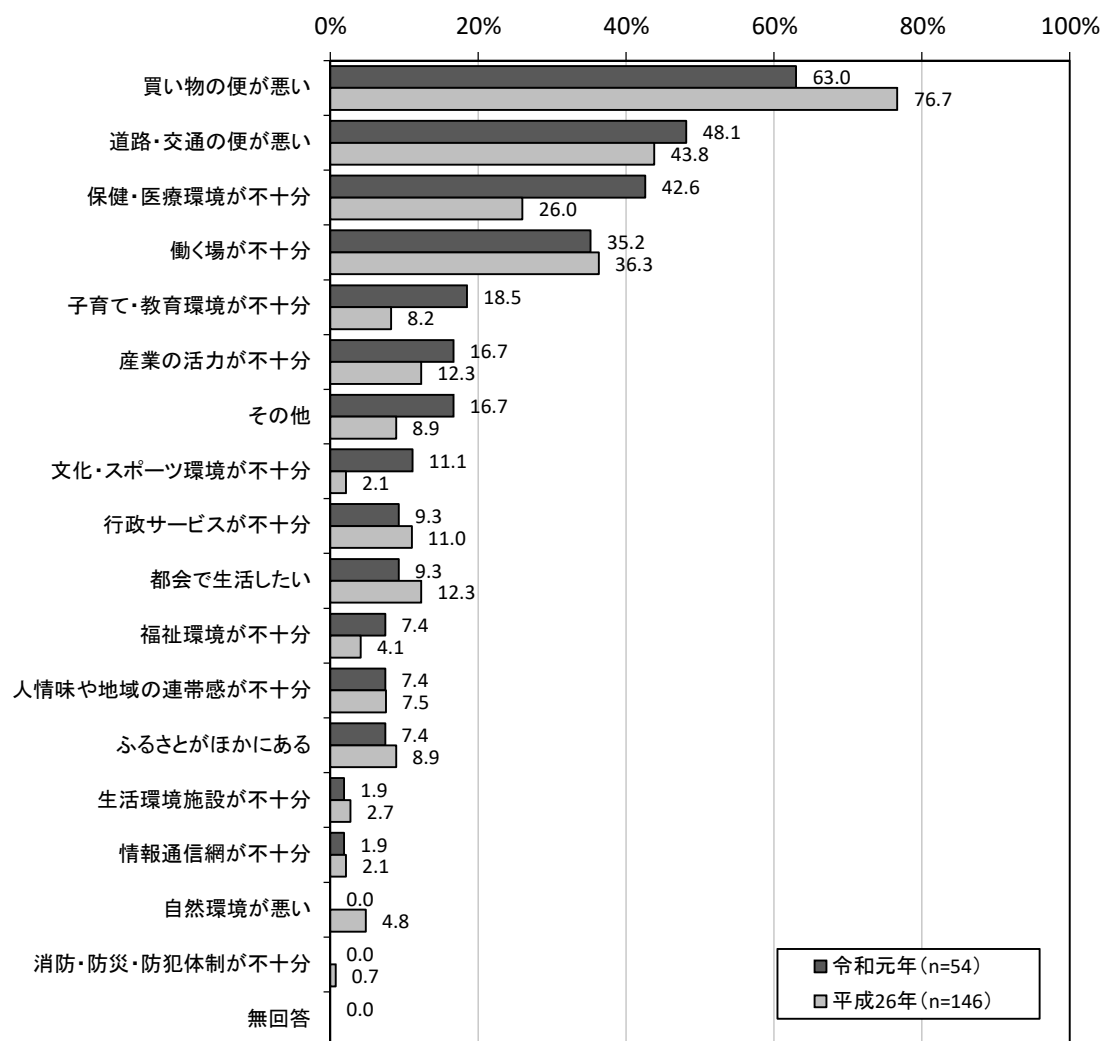
(4) 月形町に住みたくない理由

今後、町に住みたくない理由は、「買い物の便が悪い」が63.0%で最も多く、次いで「道路・交通の便が悪い」（48.1%）、「保健・医療環境が不十分」（42.6%）が続いています。

平成26年調査と比べると、「買い物の便が悪い」は13.7ポイント減少し、「保健・医療環境が不十分」は16.6ポイント増加しています。

問3-1 住みたくない主な理由は何ですか。

(3つまでに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、上位項目の「道路・交通の便が悪い」「保健・医療環境が不十分」が男性よりも女性の方が20ポイント以上多くなっています。一方、「産業の活力が不十分」は男性の方が26.9ポイント多い状況です。

○年齢階級別でみると、30代、40代は「子育て・教育環境が不十分」が他の年代に比べて割合が高くなっています。

(%)

		n	自然環境が悪い	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が不十分	道路・交通の便が悪い	情報通信網が不十分	消防・防災・防犯体制が不十分	保健・医療環境が不十分
全体		54	0.0	1.9	48.1	1.9	0.0	42.6
性別	男性	21	0.0	4.8	38.1	4.8	0.0	28.6
	女性	31	0.0	0.0	58.1	0.0	0.0	54.8
年齢	20代以下	6	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	30代	11	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	36.4
	40代	8	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	50代	12	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	58.3
	60代	8	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	62.5
	70歳以上	8	0.0	12.5	50.0	12.5	0.0	62.5

		n	福祉環境が不十分	子育て・教育環境が不十分	文化・スポーツ環境が不十分	産業の活力が不十分	買い物の便が悪い	働く場が不十分
全体		54	7.4	18.5	11.1	16.7	63.0	35.2
性別	男性	21	0.0	19.0	19.0	33.3	57.1	38.1
	女性	31	12.9	16.1	6.5	6.5	71.0	32.3
年齢	20代以下	6	0.0	16.7	16.7	16.7	66.7	50.0
	30代	11	9.1	45.5	9.1	9.1	45.5	45.5
	40代	8	0.0	37.5	12.5	25.0	62.5	25.0
	50代	12	8.3	8.3	8.3	25.0	58.3	25.0
	60代	8	12.5	0.0	0.0	12.5	75.0	25.0
	70歳以上	8	12.5	0.0	25.0	12.5	75.0	50.0

		n	人情味や地域の連帯感が不十分	行政サービスが不十分	ふるさとがほかにある	都会で生活したい	その他	無回答
全体		54	7.4	9.3	7.4	9.3	16.7	0.0
性別	男性	21	19.0	19.0	9.5	4.8	14.3	0.0
	女性	31	0.0	3.2	6.5	12.9	16.1	0.0
年齢	20代以下	6	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0
	30代	11	9.1	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0
	40代	8	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	50代	12	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0
	60代	8	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0
	70歳以上	8	12.5	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別でみると、5年以上10年未満で「働く場が不十分」が半数を占め、他の居住年数に比べて非常に多くなっています。

(%)

		n	自然環境が悪い	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が不十分	道路・交通の便が悪い	情報通信網が不十分	消防・防災・防犯体制が不十分	保健・医療環境が不十分
全 体		54	0.0	1.9	48.1	1.9	0.0	42.6
居住年数	5年未満	9	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	44.4
	5年以上10年未満	10	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	30.0
	10年以上20年未満	7	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3
	20年以上	27	0.0	3.7	55.6	3.7	0.0	55.6

		n	福祉環境が不十分	子育て・教育環境が不十分	文化・スポーツ環境が不十分	産業の活力が不十分	買い物の便が悪い	働く場が不十分
全 体		54	7.4	18.5	11.1	16.7	63.0	35.2
居住年数	5年未満	9	11.1	44.4	11.1	22.2	66.7	33.3
	5年以上10年未満	10	0.0	20.0	20.0	0.0	70.0	50.0
	10年以上20年未満	7	0.0	28.6	28.6	28.6	57.1	14.3
	20年以上	27	11.1	7.4	3.7	18.5	59.3	37.0

		n	人情味や地域の連帯感が不十分	行政サービスが不十分	ふるさとがほかにある	都会で生活したい	その他	無回答
全 体		54	7.4	9.3	7.4	9.3	16.7	0.0
居住年数	5年未満	9	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0
	5年以上10年未満	10	20.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0
	10年以上20年未満	7	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0
	20年以上	27	3.7	7.4	0.0	11.1	18.5	0.0

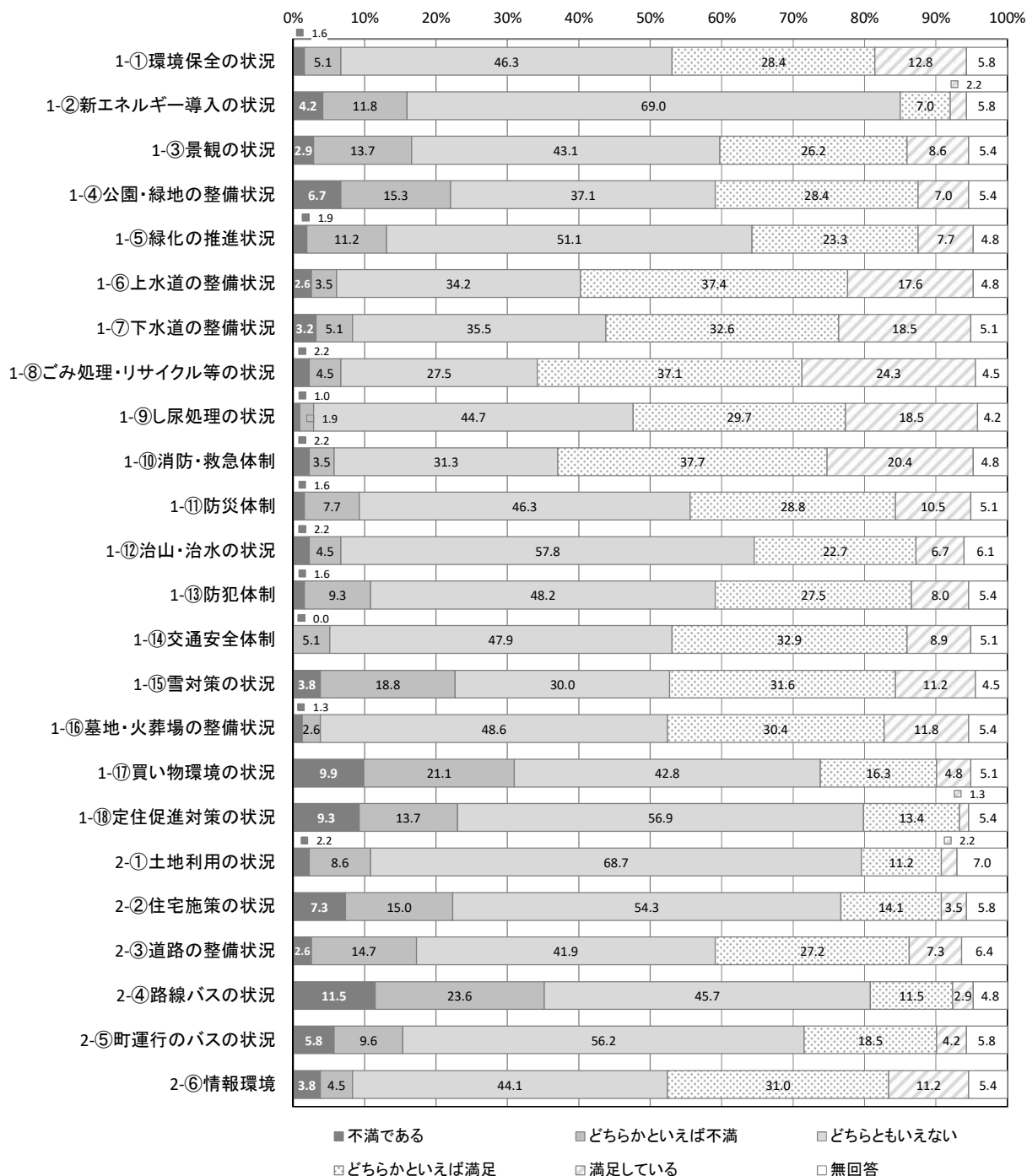
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

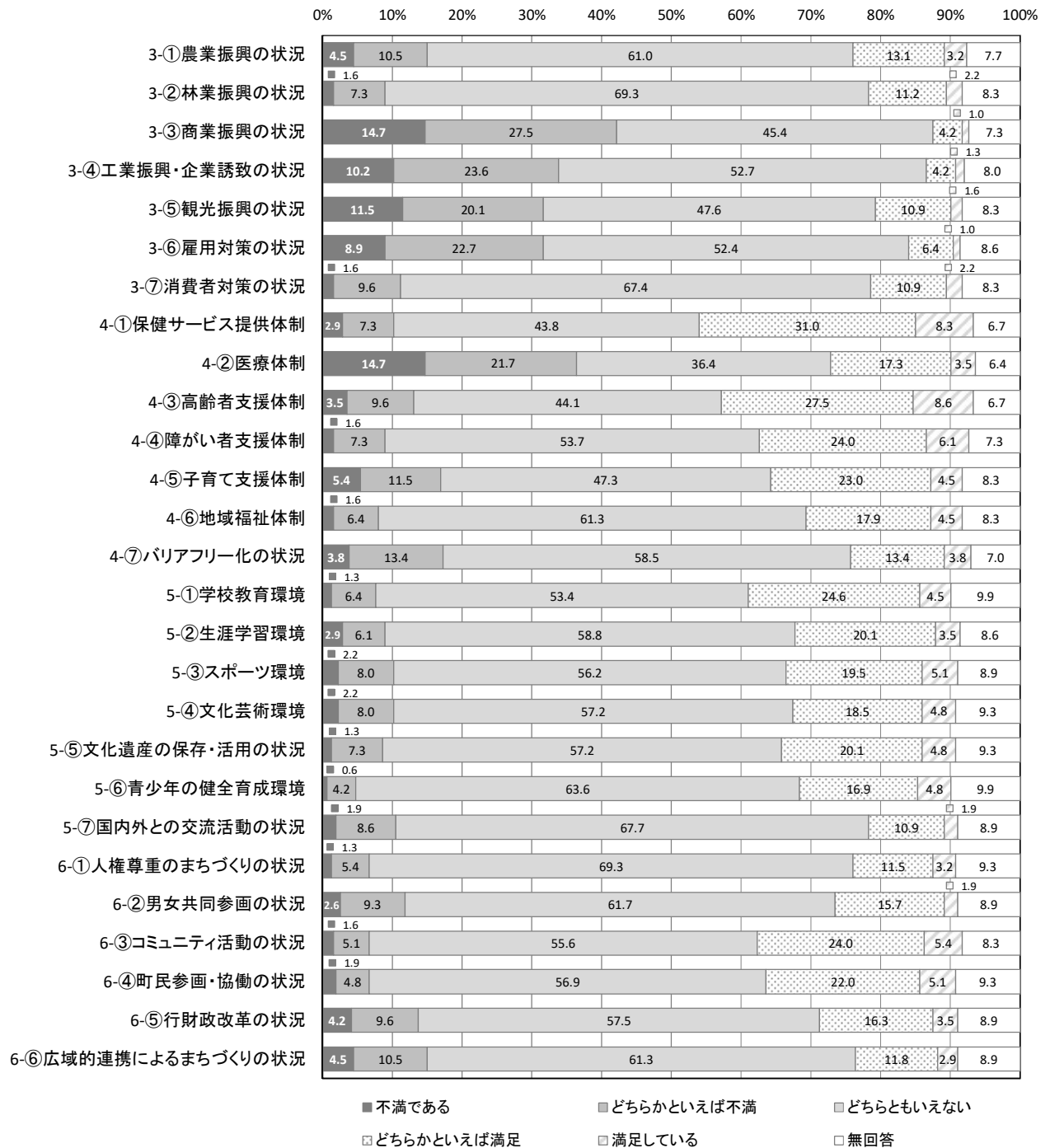
3. 月形町の取組について

(1) 現状の満足度

問4 月形町の現状と今後の取組についておたずねします。

(1) あなたは、月形町の現状について、どの程度満足していますか。 (それぞれ1つに○印)





①満足度が高い項目

「どちらかといえば満足」と「満足している」の合計の上位10項目は下表のとおりとなっています。
 「1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況」（61.4%）が最も満足度が高く、次いで「1-⑩消防・救急体制」（58.1%）、「1-⑥上水道の整備状況」（55.0%）が続いており、上位10項目は生活環境分野の満足度が高くなっています

《満足度が高い10項目》

順位	満足度が高い10項目	満足度の集計結果（%）		
		どちらかといえば満足（A）	満足している（B）	満足の合計（A）+（B）
1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	37.1	24.3	61.4
2	1-⑩消防・救急体制	37.7	20.4	58.1
3	1-⑥上水道の整備状況	37.4	17.6	55.0
4	1-⑦下水道の整備状況	32.6	18.5	51.1
5	1-⑨し尿処理の状況	29.7	18.5	48.2
6	1-⑮雪対策の状況	31.6	11.2	42.8
7	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	30.4	11.8	42.2
8	2-⑥情報環境	31.0	11.2	42.2
9	1-⑭交通安全体制	32.9	8.9	41.8
10	1-①環境保全の状況	28.4	12.8	41.2

②満足度が低い項目

「不満である」と「どちらかといえば不満」の合計の上位10項目は下表のとおりとなっています。
 「3-③商業振興の状況」（42.2%）が最も不満の割合が高く、次いで「4-②医療体制」（36.4%）、「2-④路線バスの状況」（35.1%）と続いています。

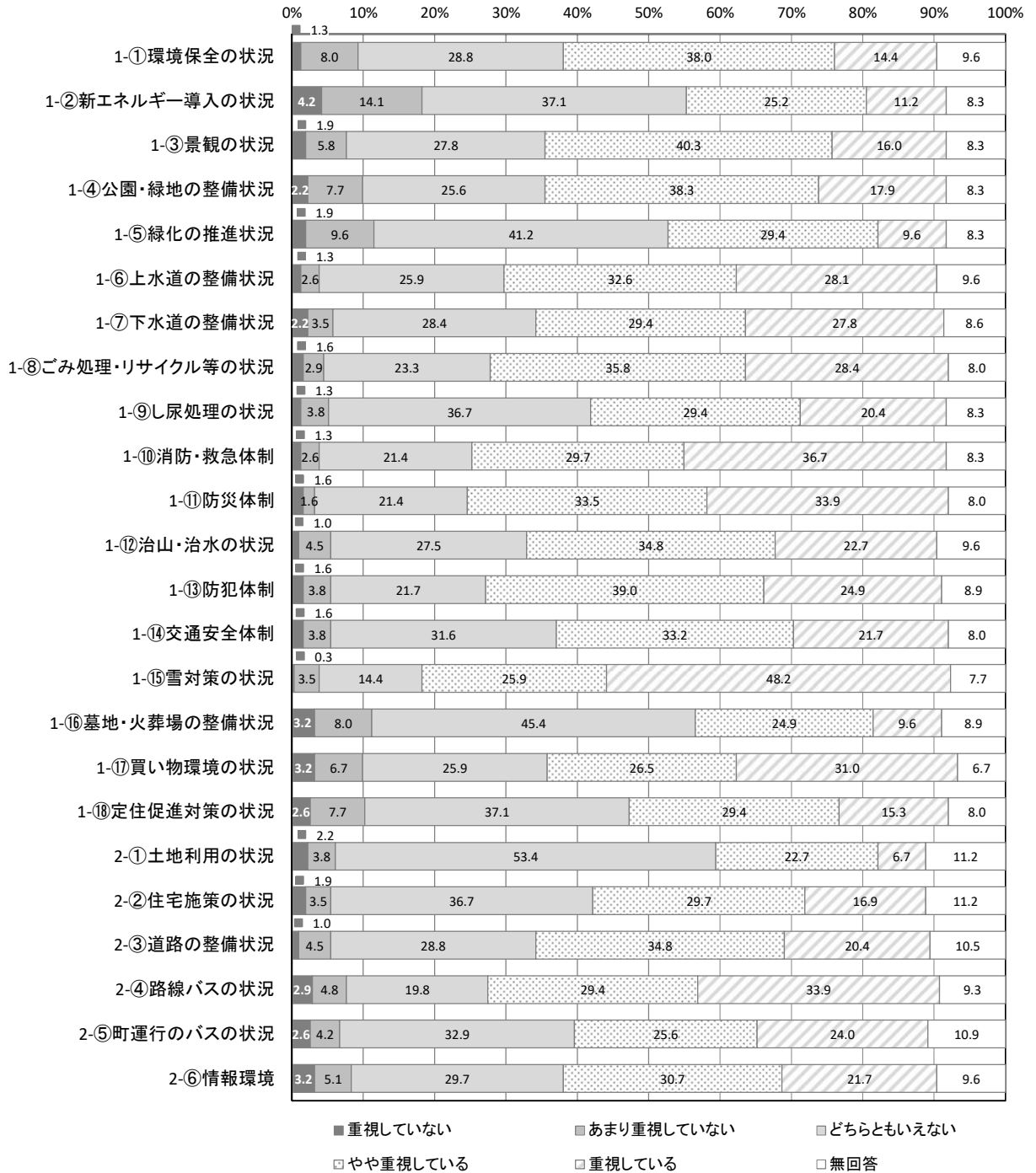
《満足度が低い10項目》

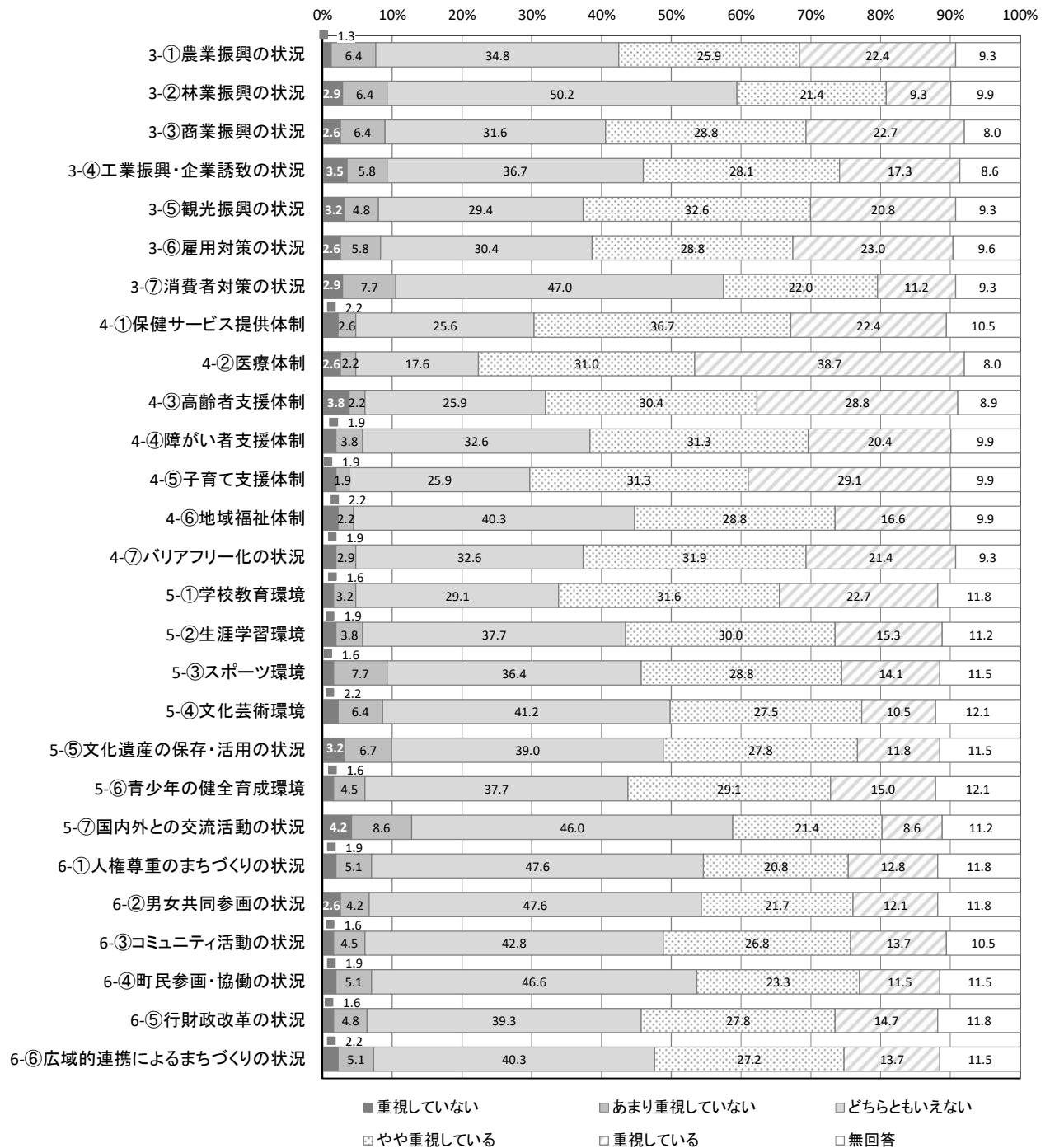
順位	満足度が低い10項目	満足度の集計結果（%）		
		不満である（A）	どちらかといえば不満（B）	不満の合計（A）+（B）
1	3-③商業振興の状況	14.7	27.5	42.2
2	4-②医療体制	14.7	21.7	36.4
3	2-④路線バスの状況	11.5	23.6	35.1
4	3-④工業振興・企業誘致の状況	10.2	23.6	33.8
5	3-⑤観光振興の状況	11.5	20.1	31.6
6	3-⑥雇用対策の状況	8.9	22.7	31.6
7	1-⑰買い物環境の状況	9.9	21.1	31.0
8	1-⑱定住促進対策の状況	9.3	13.7	23.0
9	1-⑮雪対策の状況	3.8	18.8	22.6
10	2-②住宅施策の状況	7.3	15.0	22.3

(2) 今後の重要度

問4 月形町の現状と今後の取組についておたずねします。

(2) あなたは、月形町の今後の取組について、どの程度重視していますか。(それぞれ1つに○印)





①重要度が高い項目

「やや重視している」と「重視している」の合計は、「1-⑮雪対策の状況」が74.1%で最も多く、次いで「4-②医療体制」(69.7%)、「1-⑪防災体制」(67.4%)と続いています。

《重要度が高い10項目》

順位	重要度が高い10項目	重要度の集計結果(%)		
		やや重視している(A)	重視している(B)	重視しているの合計(A)+(B)
1	1-⑮雪対策の状況	25.9	48.2	74.1
2	4-②医療体制	31.0	38.7	69.7
3	1-⑪防災体制	33.5	33.9	67.4
4	1-⑩消防・救急体制	29.7	36.7	66.4
5	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	35.8	28.4	64.2
6	1-⑬防犯体制	39.0	24.9	63.9
7	2-④路線バスの状況	29.4	33.9	63.3
8	1-⑥上水道の整備状況	32.6	28.1	60.7
9	4-⑤子育て支援体制	31.3	29.1	60.4
10	4-①保健サービス提供体制	36.7	22.4	59.1

②重要度が低い項目

「重視していない」と「あまり重視していない」の合計は、「1-②新エネルギー導入の状況」が18.3%で最も多く、次いで「5-⑦国内外との交流活動の状況」(12.8%)、「1-⑤緑化の推進状況」(11.5%)と続いています。

《重要度が低い10項目》

順位	重要度が低い10項目	重要度の集計結果(%)		
		重視していない(A)	あまり重視していない(B)	重視していないの合計(A)+(B)
1	1-②新エネルギー導入の状況	4.2	14.1	18.3
2	5-⑦国内外との交流活動の状況	4.2	8.6	12.8
3	1-⑤緑化の推進状況	1.9	9.6	11.5
4	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	3.2	8.0	11.2
5	3-⑦消費者対策の状況	2.9	7.7	10.6
6	1-⑱定住促進対策の状況	2.6	7.7	10.3
7	1-④公園・緑地の整備状況	2.2	7.7	9.9
8	1-⑰買い物環境の状況	3.2	6.7	9.9
9	5-⑤文化遺産の保存・活用の状況	3.2	6.7	9.9
10	1-①環境保全の状況	1.3	8.0	9.3

(3) 評価点による評価

■評価点の計算方法について

問4の各項目の満足度及び重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※満足度の評価点（加重平均）の算出方法	
評価点 =	$\frac{\begin{aligned} & \left[\begin{array}{ll} \text{「満足している」の回答者数} & \times 10 \text{点} \\ \text{「どちらかといえば満足」の回答者数} & \times 5 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times 0 \text{点} \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} & \times -5 \text{点} \\ \text{「不満である」の回答者数} & \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\div \text{無回答以外の回答者数}} \end{aligned}}$

※重要度の評価点（加重平均）の算出方法	
評価点 =	$\frac{\begin{aligned} & \left[\begin{array}{ll} \text{「重視している」の回答者数} & \times 10 \text{点} \\ \text{「やや重視している」の回答者数} & \times 5 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times 0 \text{点} \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} & \times -5 \text{点} \\ \text{「重視していない」の回答者数} & \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\div \text{無回答以外の回答者数}} \end{aligned}}$

①満足度の評価点

項目		評価点
1 生活環境分野	環境保全の状況	2.42
	新エネルギー導入の状況	-0.46
	景観の状況	1.27
	公園・緑地の整備状況	0.73
	緑化の推進状況	1.24
	上水道の整備状況	3.36
	下水道の整備状況	3.06
	ごみ処理・リサイクル等の状況	4.01
	し尿処理の状況	3.28
	消防・救急体制	3.71
	防災体制	2.05
	治山・治水の状況	1.45
	防犯体制	1.64
	交通安全体制	2.41
	雪対策の状況	1.44
	墓地・火葬場の整備状況	2.58
	買い物環境の状況	-0.79
	定住促進対策の状況	-0.86
	2 生活基盤分野	土地利用の状況
住宅施策の状況		-0.46
道路の整備状況		1.18
路線バスの状況		-1.54
町運行のバスの状況		0.31
情報環境		2.18

項目		評価点
3 産業分野	農業振興の状況	0.00
	林業振興の状況	0.28
	商業振興の状況	-2.74
	工業振興・企業誘致の状況	-2.03
	観光振興の状況	-1.59
	雇用対策の状況	-1.77
	消費者対策の状況	0.14
	4 保健・医療・福祉分野	保健サービス提供体制
医療体制		-1.43
高齢者支援体制		1.51
障がい者支援体制		1.38
子育て支援体制		0.52
地域福祉体制		0.94
バリアフリー化の状況		0.00
5 教育・文化分野		学校教育環境
	生涯学習環境	0.84
	スポーツ環境	0.95
	文化芸術環境	0.86
	文化遺産の保存・活用の状況	1.09
	青少年の健全育成環境	1.17
国内外との交流活動の状況	0.12	
6 協働・行財政分野	人権尊重のまちづくりの状況	0.55
	男女共同参画の状況	0.28
	コミュニティ活動の状況	1.45
	町民参画・協働の状況	1.30
	行財政改革の状況	0.30
	広域的連携によるまちづくりの状況	-0.11

評価点による満足度においても、「1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況」が4.01で最も評価点が高く、次いで「1-⑩消防・救急体制」（3.71）、「1-⑥上水道の整備状況」（3.36）と続いています。

一方、「3-③商業振興の状況」は-2.74で最も評価点が低く、次いで「3-④工業振興・企業誘致の状況」（-2.03）、「3-⑥雇用対策の状況」（-1.77）と続いています。

《満足度評価／全体》

上位10項目		
順位	項目	評価点
1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	4.01
2	1-⑩消防・救急体制	3.71
3	1-⑥上水道の整備状況	3.36
4	1-⑨し尿処理の状況	3.28
5	1-⑦下水道の整備状況	3.06
6	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	2.58
7	1-①環境保全の状況	2.42
8	1-⑭交通安全体制	2.41
9	2-⑥情報環境	2.18
10	1-⑪防災体制	2.05

下位10項目		
順位	項目	評価点
1	3-③商業振興の状況	-2.74
2	3-④工業振興・企業誘致の状況	-2.03
3	3-⑥雇用対策の状況	-1.77
4	3-⑤観光振興の状況	-1.59
5	2-④路線バスの状況	-1.54
6	4-②医療体制	-1.43
7	1-⑱定住促進対策の状況	-0.86
8	1-⑰買い物環境の状況	-0.79
9	2-②住宅施策の状況	-0.46
10	1-②新エネルギー導入の状況	-0.46

②重要度の評価点

	項目	評価点
1 生活環境分野	環境保全の状況	3.11
	新エネルギー導入の状況	1.38
	景観の状況	3.41
	公園・緑地の整備状況	3.38
	緑化の推進状況	1.92
	上水道の整備状況	4.63
	下水道の整備状況	4.21
	ごみ処理・リサイクル等の状況	4.70
	し尿処理の状況	3.48
	消防・救急体制	5.35
	防災体制	5.24
	治山・治水の状況	4.08
	防犯体制	4.49
	交通安全体制	3.78
	雪対策の状況	6.40
	墓地・火葬場の整備状況	1.63
	買い物環境の状況	4.04
	定住促進対策の状況	2.57
	2 生活基盤分野	土地利用の状況
住宅施策の状況		3.17
道路の整備状況		3.88
路線バスの状況		4.77
町運行のバスの状況		3.60
情報環境	3.46	

	項目	評価点
3 産業分野	農業振興の状況	3.40
	林業振興の状況	1.54
	商業振興の状況	3.40
	工業振興・企業誘致の状況	2.73
	観光振興の状況	3.47
	雇用対策の状況	3.53
	消費者対策の状況	1.71
	4 保健・医療・福祉分野	保健サービス提供体制
医療体制		5.49
高齢者支援体制		4.28
障がい者支援体制		3.58
子育て支援体制		4.65
地域福祉体制		3.07
バリアフリー化の状況		3.75
5 教育・文化分野	学校教育環境	4.00
	生涯学習環境	2.99
	スポーツ環境	2.60
	文化芸術環境	2.15
	文化遺産の保存・活用の状況	2.17
青少年の健全育成環境	2.93	
国内外との交流活動の状況	1.22	
6 協働・行財政分野	人権尊重のまちづくりの状況	2.12
	男女共同参画の状況	2.08
	コミュニティ活動の状況	2.61
	町民参画・協働の状況	2.11
	行財政改革の状況	2.79
	広域的連携によるまちづくりの状況	2.55

評価点による重要度においては、「1-⑮雪対策の状況」が6.40で最も評価点が高く、次いで「4-②医療体制」（5.49）、「1-⑩消防・救急体制」（5.35）と続いています。

一方、「5-⑦国内外との交流活動の状況」は1.22で最も評価点が低く、次いで「1-②新エネルギー導入の状況」（1.38）、「3-②林業振興の状況」（1.54）と続いています。

《重要度評価／全体》

上位10項目		
順位	項目	評価点
1	1-⑮雪対策の状況	6.40
2	4-②医療体制	5.49
3	1-⑩消防・救急体制	5.35
4	1-⑪防災体制	5.24
5	2-④路線バスの状況	4.77
6	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	4.70
7	4-⑤子育て支援体制	4.65
8	1-⑥上水道の整備状況	4.63
9	1-⑬防犯体制	4.49
10	4-③高齢者支援体制	4.28

下位10項目		
順位	項目	評価点
1	5-⑦国内外との交流活動の状況	1.22
2	1-②新エネルギー導入の状況	1.38
3	3-②林業振興の状況	1.54
4	2-①土地利用の状況	1.56
5	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	1.63
6	3-⑦消費者対策の状況	1.71
7	1-⑤緑化の推進状況	1.92
8	6-②男女共同参画の状況	2.08
9	6-④町民参画・協働の状況	2.11
10	6-①人権尊重のまちづくりの状況	2.12

③今後力を入れるべき施策項目

施策項目の満足度と重要度に関して偏差値による分析※を行い、改善度を算出しました。

また、改善度がプラスの項目を“改善の優先度が高いと思われる項目”、マイナスの項目を“改善の優先度が低いと思われる項目”として整理しました。

この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位3項目を抽出したところ、全体では「4-② 医療体制」「2-④ 路線バスの状況」「3-③ 商業振興の状況」となり、これらの項目は改善の優先度が高いと考えられます。

≪改善の優先度が高い項目（改善度が高い上位5項目）≫

地域	改善の優先度が非常に高い項目	改善度
全 体	4-② 医療体制	23.84
	2-④ 路線バスの状況	20.03
	3-③ 商業振興の状況	17.45
	1-⑯ 雪対策の状況	15.71
	3-⑥ 雇用対策の状況	13.59

※偏差値による分析について

満足度評価と重要度評価それぞれの偏差値を算出し、重要度偏差値を横軸に、満足度偏差値を縦軸にとり、散布図に各項目をプロットします。

改善度は、プロットの原点（満足度偏差値 50 および重要度偏差値 50 の位置）からの距離×修正指数で算出し、原点からの距離、修正指数は以下の計算式で算出します。

$$\text{距離} = \sqrt{(x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2} \quad \text{修正指数 } r = \frac{90 - \text{角度}}{90}$$

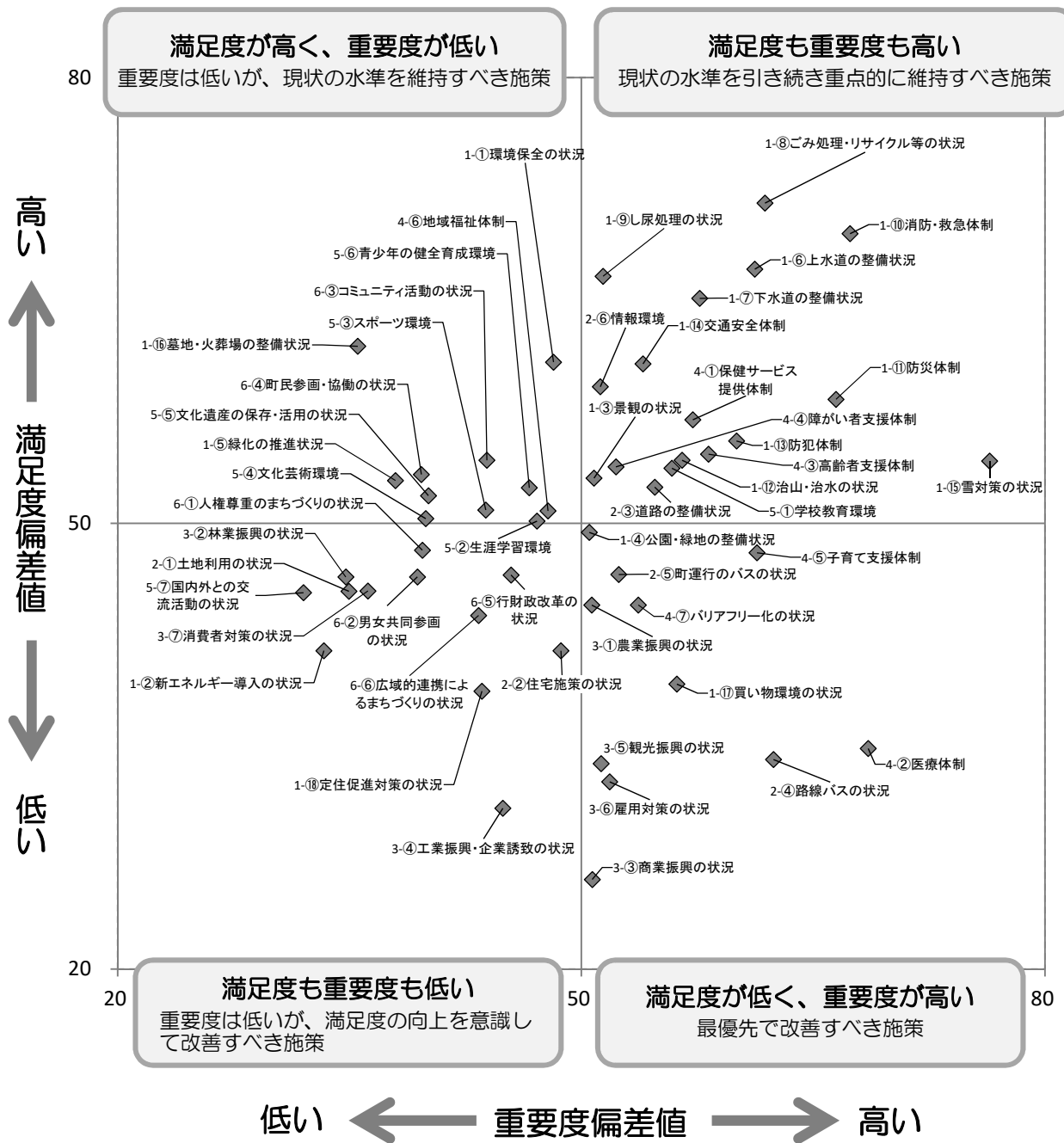
満足度偏差値と重要度偏差値

項目	満足度 偏差値	重要度 偏差値	改善度	改善の 優先順
1-①環境保全の状況	60.84	48.20	-8.94	46
1-②新エネルギー導入の状況	41.43	33.34	-5.72	37
1-③景観の状況	53.04	50.81	-1.58	27
1-④公園・緑地の整備状況	49.40	50.51	0.78	21
1-⑤緑化の推進状況	52.87	37.97	-10.54	49
1-⑥上水道の整備状況	67.12	61.22	-4.17	31
1-⑦下水道の整備状況	65.15	57.66	-5.30	35
1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	71.55	61.87	-6.84	40
1-⑨し尿処理の状況	66.63	51.41	-10.76	50
1-⑩消防・救急体制	69.49	67.39	-1.49	26
1-⑪防災体制	58.35	66.48	5.75	11
1-⑫治山・治水の状況	54.25	56.53	1.61	19
1-⑬防犯体制	55.55	60.04	3.18	16
1-⑭交通安全体制	60.73	53.98	-4.77	32
1-⑮雪対策の状況	54.20	76.41	15.71	4
1-⑯墓地・火葬場の整備状況	61.92	35.53	-18.66	51
1-⑰買い物環境の状況	39.18	56.18	12.02	7
1-⑱定住促進対策の状況	38.70	43.57	3.44	15
2-①土地利用の状況	45.43	34.95	-7.41	43
2-②住宅施策の状況	41.43	48.68	5.13	12
2-③道路の整備状況	52.44	54.76	1.64	18
2-④路線バスの状況	34.11	62.44	20.03	2
2-⑤町運行のバスの状況	46.56	52.42	4.14	14
2-⑥情報環境	59.19	51.22	-5.63	36
3-①農業振興の状況	44.51	50.67	4.35	13
3-②林業振興の状況	46.39	34.76	-8.22	44
3-③商業振興の状況	26.04	50.71	17.45	3
3-④工業振興・企業誘致の状況	30.82	44.92	9.97	8
3-⑤観光振興の状況	33.83	51.27	12.34	6
3-⑥雇用対策の状況	32.61	51.83	13.59	5
3-⑦消費者対策の状況	45.45	36.18	-6.55	39
4-①保健サービス提供体制	56.97	57.21	0.17	22
4-②医療体制	34.85	68.57	23.84	1
4-③高齢者支援体制	54.66	58.23	2.53	17
4-④障がい者支援体制	53.80	52.24	-1.10	25
4-⑤子育て支援体制	48.03	61.36	9.43	9
4-⑥地域福祉体制	50.85	47.83	-2.13	28
4-⑦バリアフリー化の状況	44.51	53.69	6.49	10

満足度偏差値と重要度偏差値

項目	満足度 偏差値	重要度 偏差値	改善度	改善の 優先順
5-①学校教育環境	55.86	53.71	1.52	20
5-②生涯学習環境	47.13	50.16	-2.14	29
5-③スポーツ環境	43.82	50.89	-5.00	34
5-④文化芸術環境	39.93	50.32	-7.35	42
5-⑤文化遺産の保存・活用の状況	40.11	51.86	-8.31	45
5-⑥青少年の健全育成環境	46.63	52.39	-4.07	30
5-⑦国内外との交流活動の状況	32.03	45.34	-9.41	47
6-①人権尊重のまちづくりの状況	39.71	48.19	-5.99	38
6-②男女共同参画の状況	39.40	46.40	-4.95	33
6-③コミュニティ活動の状況	43.89	54.25	-7.33	41
6-④町民参画・協働の状況	39.64	53.29	-9.65	48
6-⑤行財政改革の状況	45.46	46.52	-0.75	24
6-⑥広域的連携によるまちづくりの状況	43.36	43.80	-0.31	23

《満足度偏差値と重要度偏差値の相関》



(4) 評価点による評価（年代別）

①満足度の評価点

評価点による満足度を年代別でも「1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況」、「1-⑥上水道の整備状況」、「1-⑩消防・救急体制」などの生活環境分野の施策項目で満足度が高い状況です。

全体との差異をみると、30代以下は「1-①環境保全の状況」、40～50代は「2-⑥情報環境」、60歳以上は「1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況」が高くなっています。

満足度が低い施策項目は、いずれの年代も「3-③商業振興の状況」が最も低く、30代以下は「4-②医療体制」、40～50代は「3-⑥雇用対策の状況」、60歳以上は「3-④工業振興・企業誘致の状況」が次に続いています。

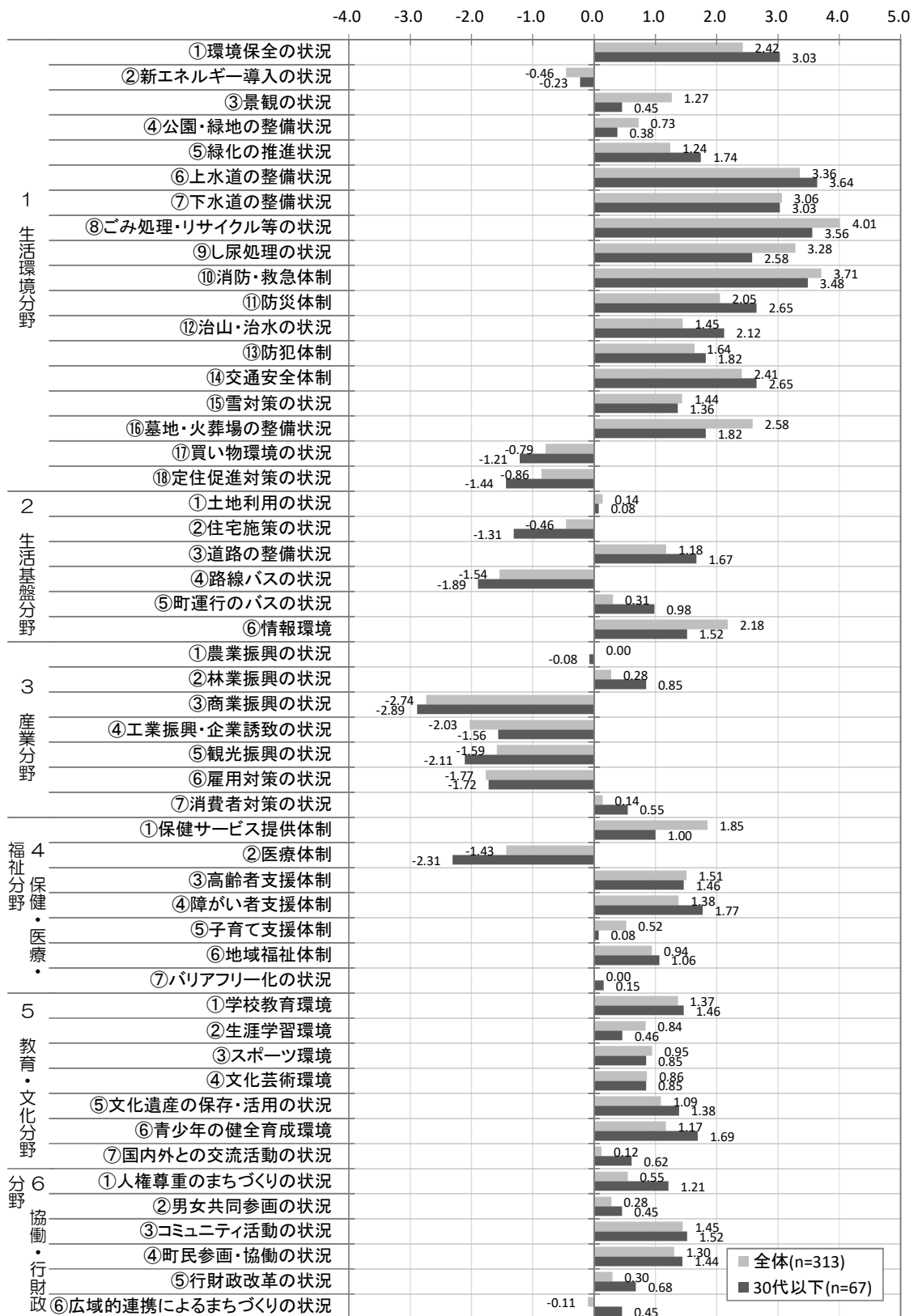
《満足度が高い5項目》

年代	順位	上位5項目	評価点	全体との差異
全 体	1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	4.01	
	2	1-⑩消防・救急体制	3.71	
	3	1-⑥上水道の整備状況	3.36	
	4	1-⑨し尿処理の状況	3.28	
	5	1-⑦下水道の整備状況	3.06	
30代以下	1	1-⑥上水道の整備状況	3.64	+0.28
	2	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	3.56	-0.45
	3	1-⑩消防・救急体制	3.48	-0.23
	4	1-⑦下水道の整備状況	3.03	-0.03
	4	1-①環境保全の状況	3.03	+0.61
40～50代	1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	3.85	-0.16
	2	1-⑨し尿処理の状況	3.43	+0.15
	3	1-⑩消防・救急体制	3.39	-0.32
	4	1-⑥上水道の整備状況	3.35	-0.01
	5	2-⑥情報環境	3.17	+0.99
60歳以上	1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	4.70	+0.69
	2	1-⑩消防・救急体制	4.27	+0.56
	3	1-⑨し尿処理の状況	3.74	+0.46
	4	1-⑥上水道の整備状況	3.36	0.00
	5	1-⑦下水道の整備状況	3.35	+0.29

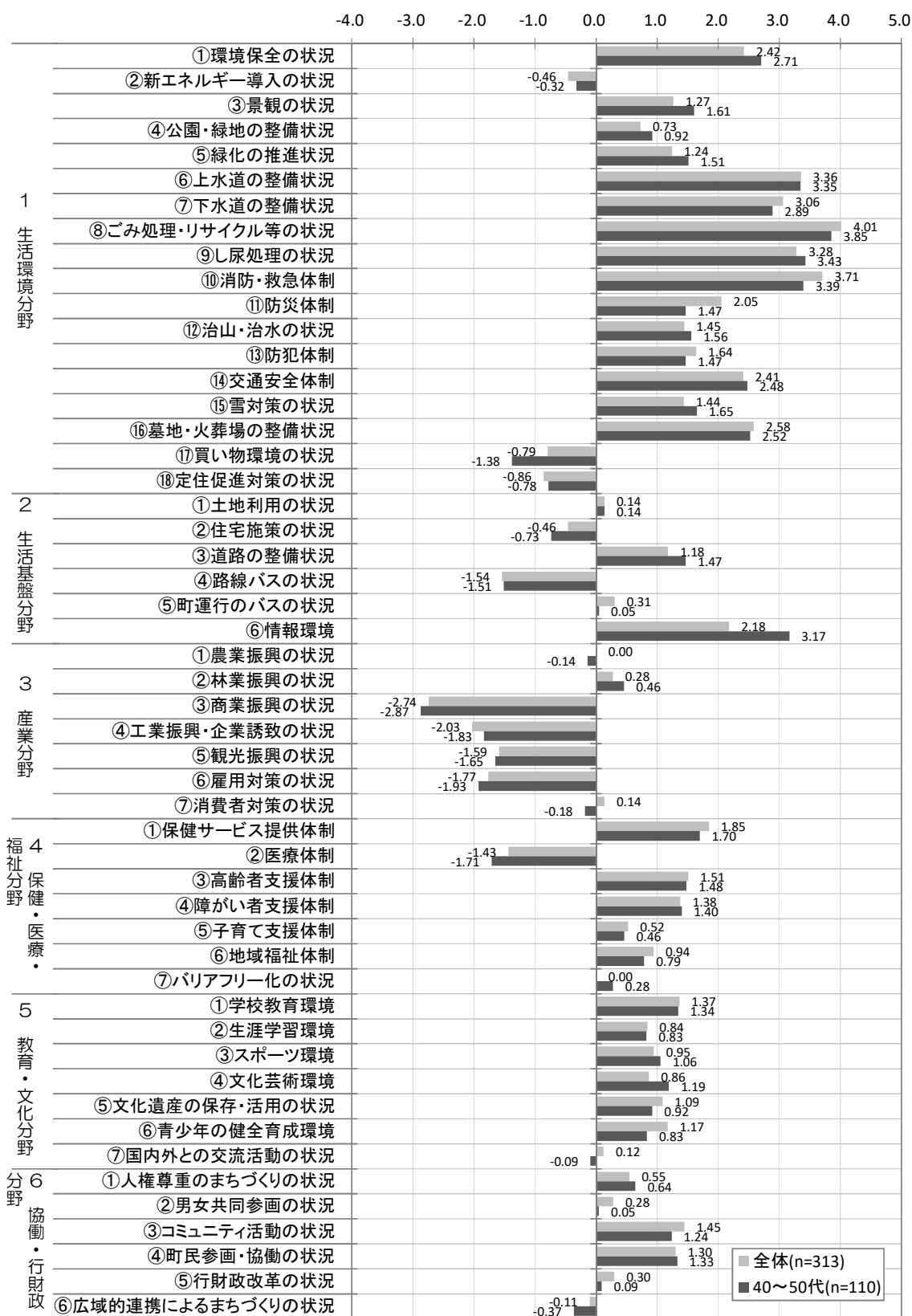
《満足度が低い5項目》

年代	順位	下位5項目	評価点	全体との 差異
全 体	1	3-③商業振興の状況	-2.74	/
	2	3-④工業振興・企業誘致の状況	-2.03	
	3	3-⑥雇用対策の状況	-1.77	
	4	3-⑤観光振興の状況	-1.59	
	5	2-④路線バスの状況	-1.54	
30代以下	1	3-③商業振興の状況	-2.89	-0.15
	2	4-②医療体制	-2.31	-0.88
	3	3-⑤観光振興の状況	-2.11	-0.52
	4	2-④路線バスの状況	-1.89	-0.35
	5	3-⑥雇用対策の状況	-1.72	+0.05
40～50代	1	3-③商業振興の状況	-2.87	-0.13
	2	3-⑥雇用対策の状況	-1.93	-0.16
	3	3-④工業振興・企業誘致の状況	-1.83	+0.20
	4	4-②医療体制	-1.71	-0.28
	5	3-⑤観光振興の状況	-1.65	-0.06
60歳以上	1	3-③商業振興の状況	-2.48	+0.26
	2	3-④工業振興・企業誘致の状況	-2.36	-0.33
	3	3-⑥雇用対策の状況	-1.60	+0.17
	4	2-④路線バスの状況	-1.42	+0.12
	5	3-⑤観光振興の状況	-1.07	+0.52

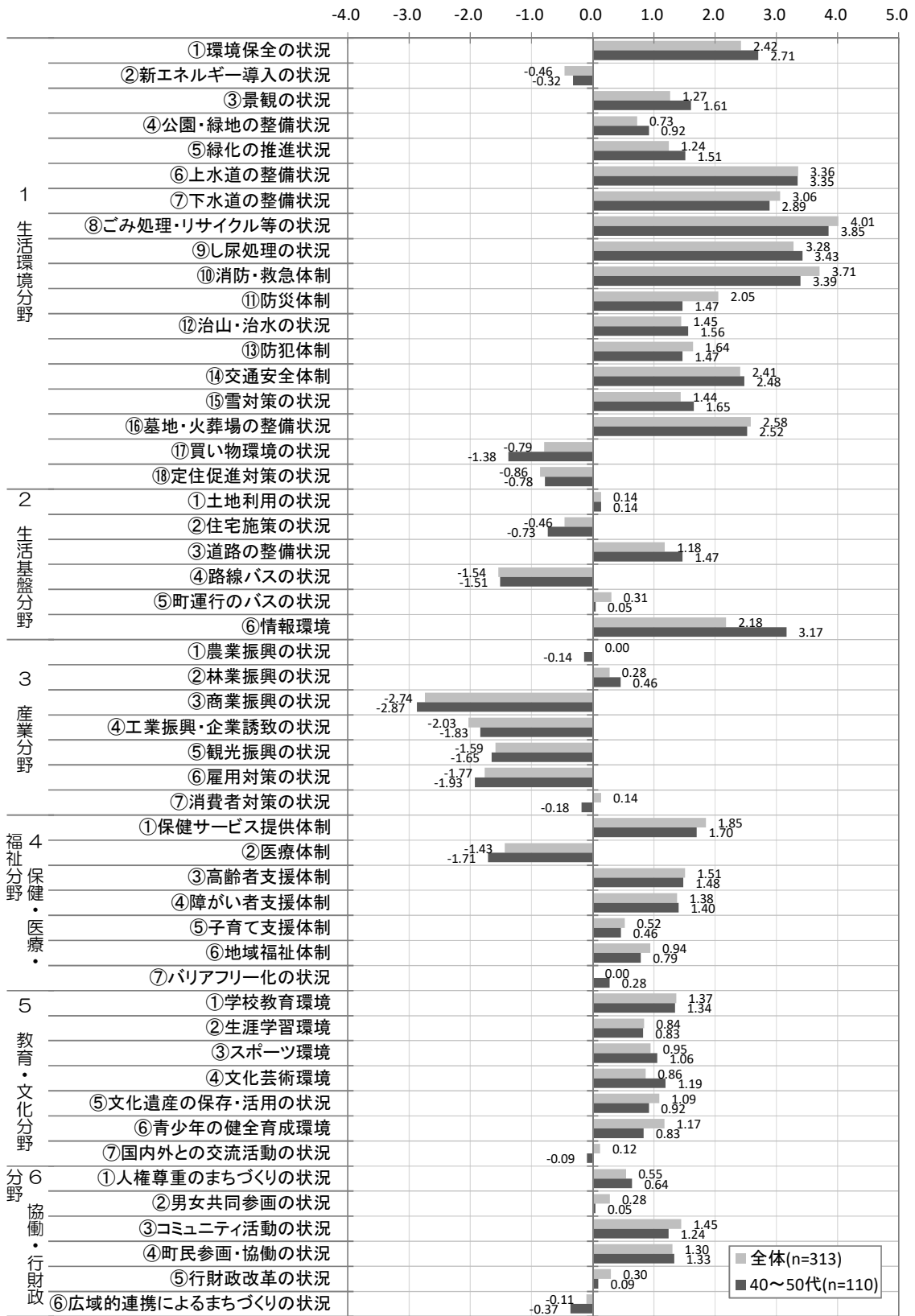
《満足度の評価点/30代以下》



《満足度の評価点／40～50代》



《満足度の評価点/60歳以上》



②重要度の評価点

評価点による重要度を年代別でみると、いずれの年代も「1-⑮雪対策の状況」が最も高く、30代以下及び40～50代はその評価点が全体と比べて高くなっています。また、30代以下は「4-⑤子育て支援体制」、40～50代は「4-②医療体制」も全体と比べて評価点が高くなっています。

重要度が低い施策項目を年代別でみると、30代以下は「1-⑯墓地・火葬場の整備状況」、40～50代及び60歳以上は「5-⑦国内外との交流活動の状況」がそれぞれ最も低くなっています。

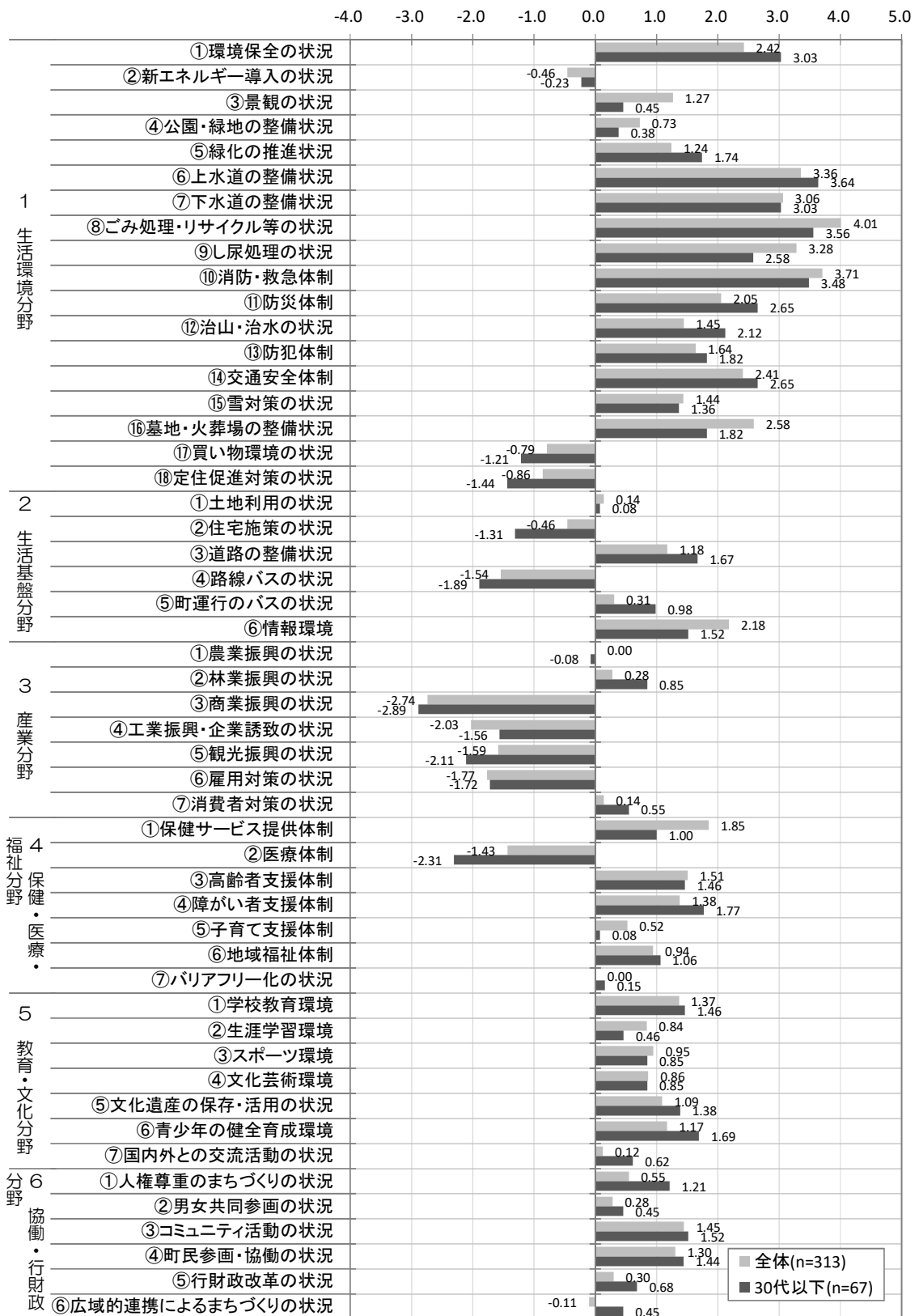
《重要度が高い5項目》

年代	順位	上位5項目	評価点	全体との差異
全 体	1	1-⑮雪対策の状況	6.40	
	2	4-②医療体制	5.49	
	3	1-⑩消防・救急体制	5.35	
	4	1-⑪防災体制	5.24	
	5	2-④路線バスの状況	4.77	
30代以下	1	1-⑮雪対策の状況	6.95	+0.55
	2	4-⑤子育て支援体制	6.02	+1.37
	3	4-②医療体制	5.55	+0.06
	4	1-⑪防災体制	5.24	0.00
	5	1-⑩消防・救急体制	5.08	-0.27
40～50代	1	1-⑮雪対策の状況	7.12	+0.72
	2	4-②医療体制	6.31	+0.82
	3	1-⑪防災体制	5.75	+0.51
	4	1-⑩消防・救急体制	5.65	+0.30
	5	2-④路線バスの状況	5.47	+0.70
60歳以上	1	1-⑮雪対策の状況	5.45	-0.95
	2	1-⑩消防・救急体制	5.42	+0.07
	3	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	5.05	+0.35
	4	4-②医療体制	4.91	-0.58
	5	1-⑪防災体制	4.87	-0.37

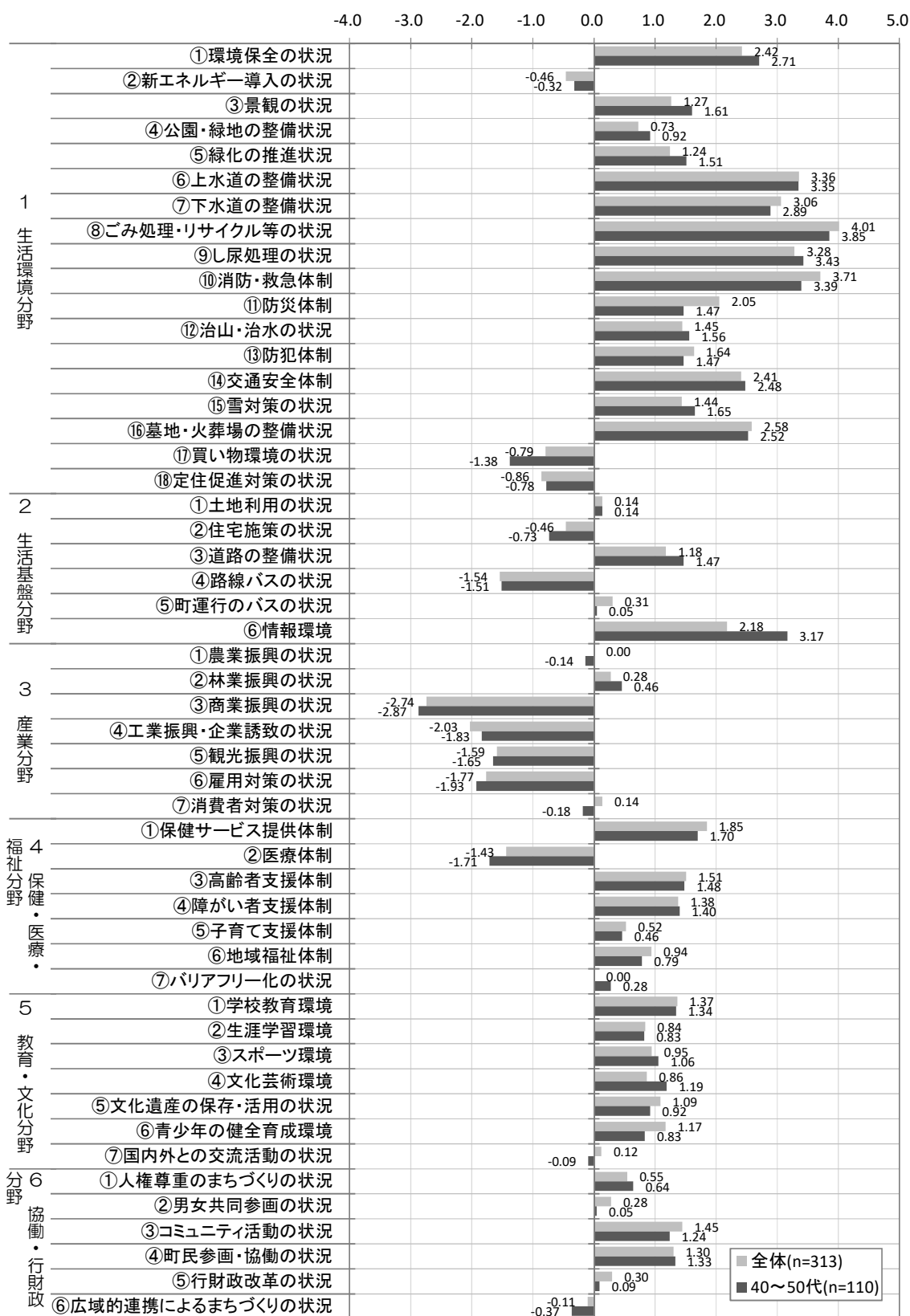
《重要度が低い5項目》

年代	順位	下位5項目	評価点	全体との 差異
全 体	1	5-⑦国内外との交流活動の状況	1.22	/
	2	1-②新エネルギー導入の状況	1.38	
	3	3-②林業振興の状況	1.54	
	4	2-①土地利用の状況	1.56	
	5	1-⑩墓地・火葬場の整備状況	1.63	
30代以下	1	1-⑩墓地・火葬場の整備状況	0.70	-0.93
	2	3-②林業振興の状況	1.02	-0.52
	3	1-②新エネルギー導入の状況	1.15	-0.23
	4	6-④町民参画・協働の状況	1.23	-0.88
	5	2-①土地利用の状況	1.29	-0.27
40～50代	1	5-⑦国内外との交流活動の状況	1.17	-0.05
	2	1-⑩墓地・火葬場の整備状況	1.37	-0.26
	3	3-②林業振興の状況	1.64	+0.10
	4	3-⑦消費者対策の状況	1.82	+0.11
	5	1-②新エネルギー導入の状況	2.06	+0.68
60歳以上	1	5-⑦国内外との交流活動の状況	0.96	-0.26
	2	1-②新エネルギー導入の状況	1.06	-0.32
	3	2-①土地利用の状況	1.25	-0.31
	4	1-⑤緑化の推進状況	1.62	-0.30
	5	3-⑦消費者対策の状況	1.71	0.00

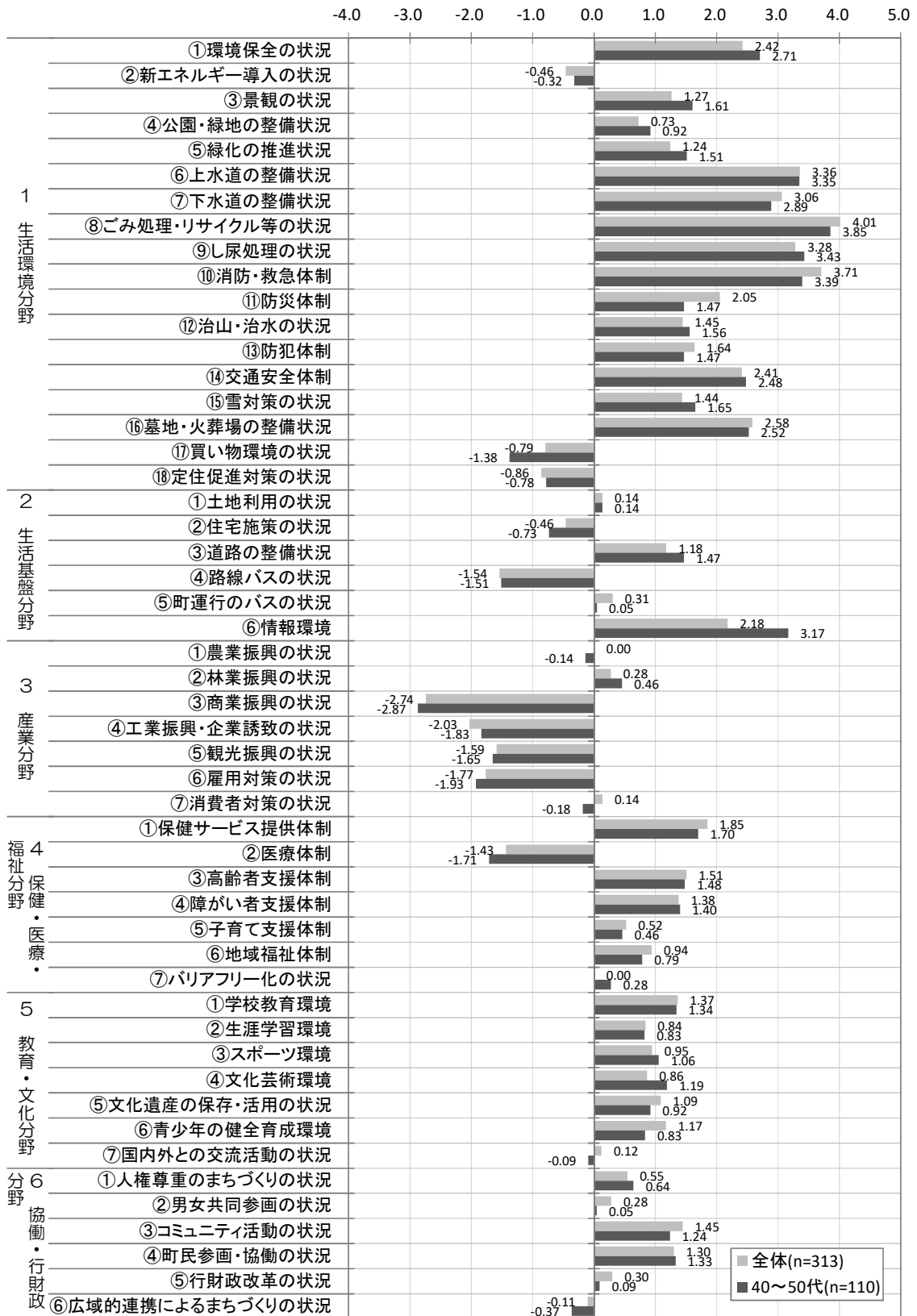
《重要度の評価点/30代以下》



《重要度の評価点／40～50代》



《重要度の評価点/60歳以上》



③今後力を入れるべき施策項目

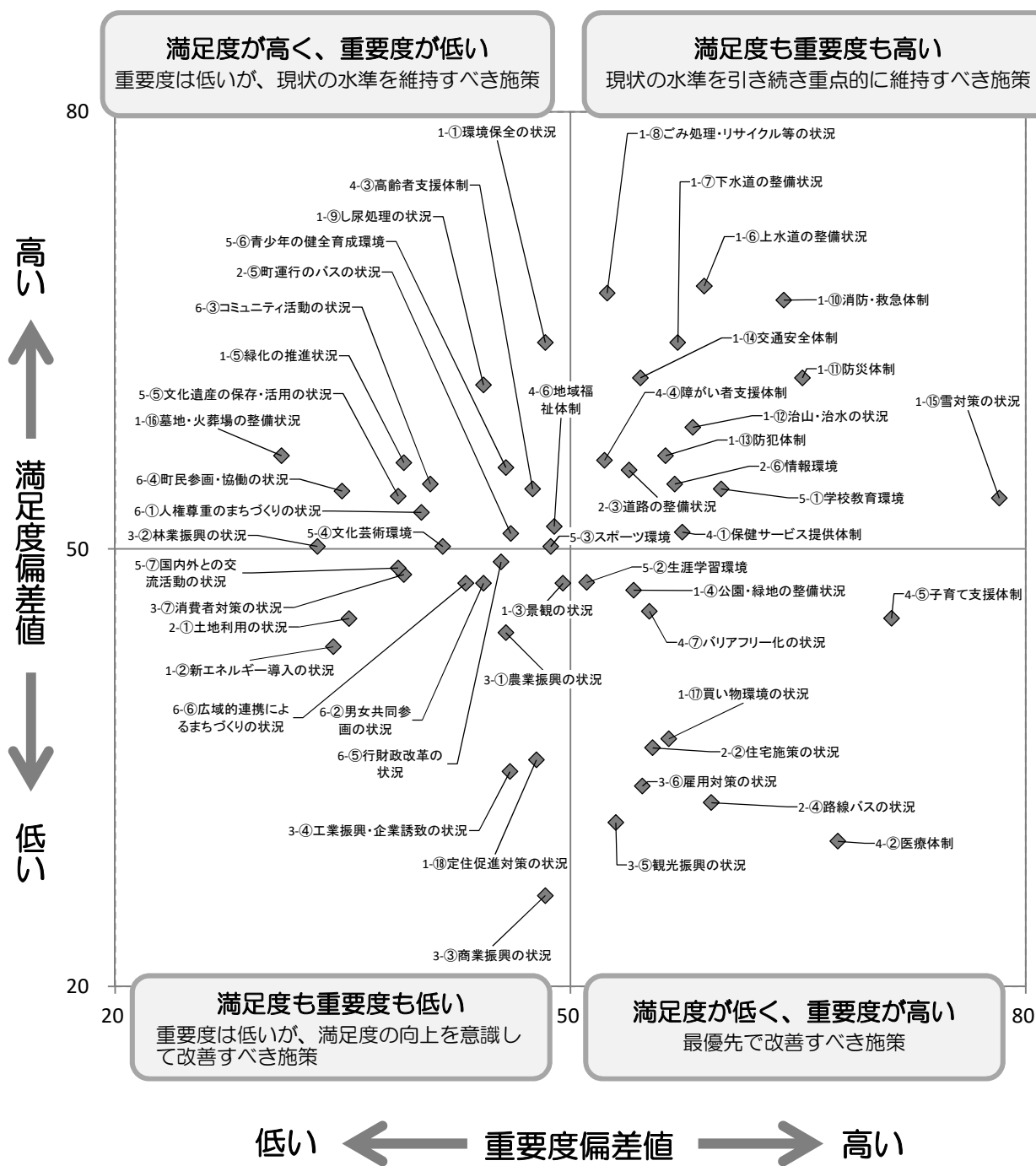
施策項目の満足度と重要度を基に算出した改善度を年代別に分析したところ、各年代においても「4-② 医療体制」「2-④ 路線バスの状況」「3-③ 商業振興の状況」の改善度が高い結果となっています。全体と比較すると、30代以下は「4-⑤ 子育て支援体制」「4-② 医療体制」、40～50代は「3-③ 商業振興の状況」の改善度が高くなっています。

≪改善の優先度が高い項目（改善度が高い上位5項目）≫

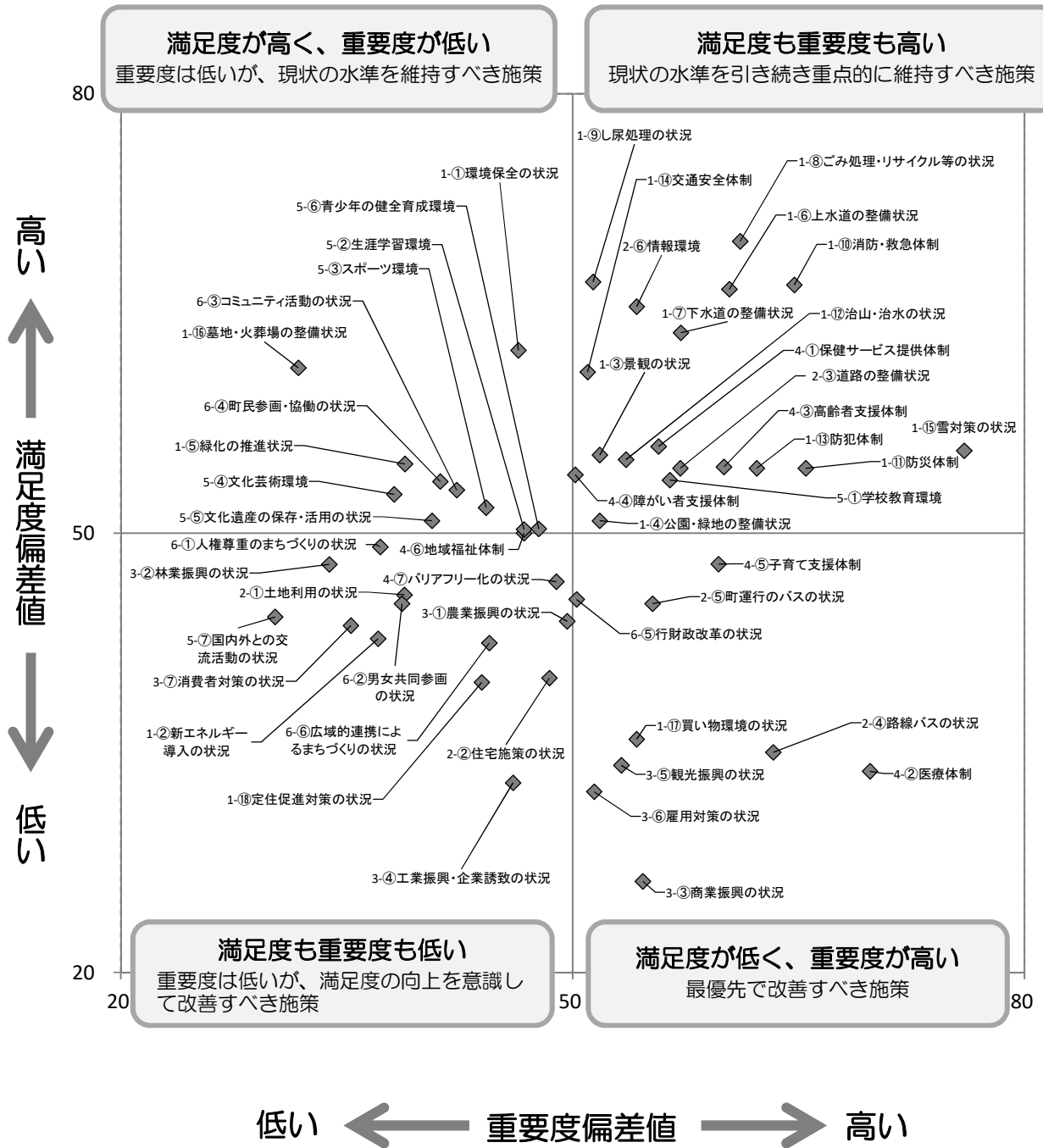
年代	改善の優先度が非常に高い項目	改善度	全体との差異
全 体	4-② 医療体制	23.84	/
	2-④ 路線バスの状況	20.03	
	3-③ 商業振興の状況	17.45	
	1-⑮ 雪対策の状況	15.71	
	3-⑥ 雇用対策の状況	13.59	
30代以下	4-② 医療体制	26.63	+2.79
	2-④ 路線バスの状況	18.85	-1.18
	4-⑤ 子育て支援体制	18.33	+8.91
	1-⑮ 雪対策の状況	17.52	+1.81
	3-③ 商業振興の状況	15.64	-1.81
40～50代	4-② 医療体制	25.46	+1.62
	3-③ 商業振興の状況	20.12	+2.67
	2-④ 路線バスの状況	20.00	-0.03
	1-⑮ 雪対策の状況	14.41	-1.30
	3-⑤ 観光振興の状況	13.50	+1.17
60歳以上	2-④ 路線バスの状況	20.14	+0.11
	4-② 医療体制	18.23	-5.61
	3-③ 商業振興の状況	14.74	-2.71
	1-⑮ 雪対策の状況	13.72	-1.99
	3-⑥ 雇用対策の状況	12.46	-1.13

※網掛け部は全体との差異が2.0以上の施策項目

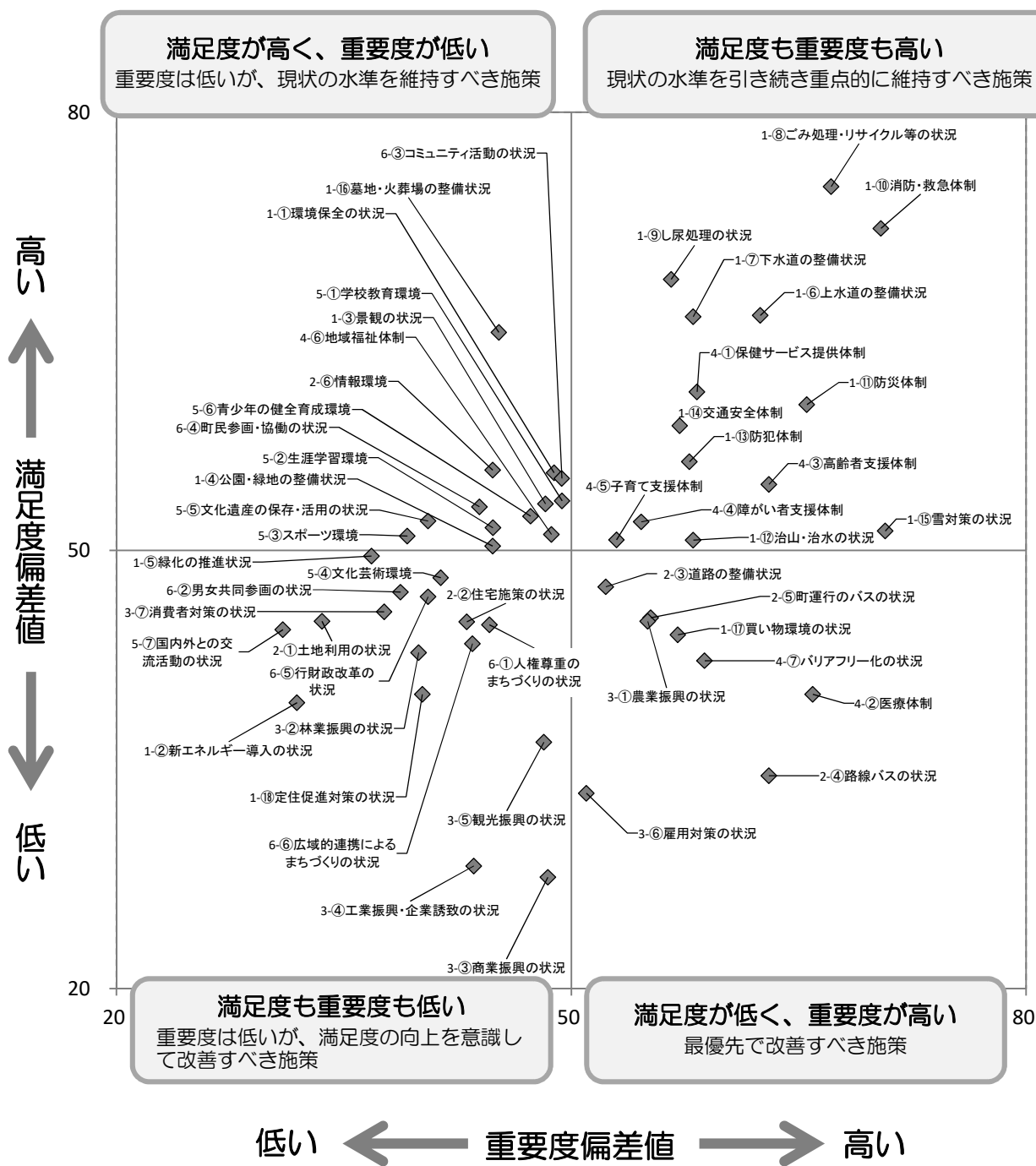
《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／30代以下》



《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／40～50代》



《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／60歳以上》

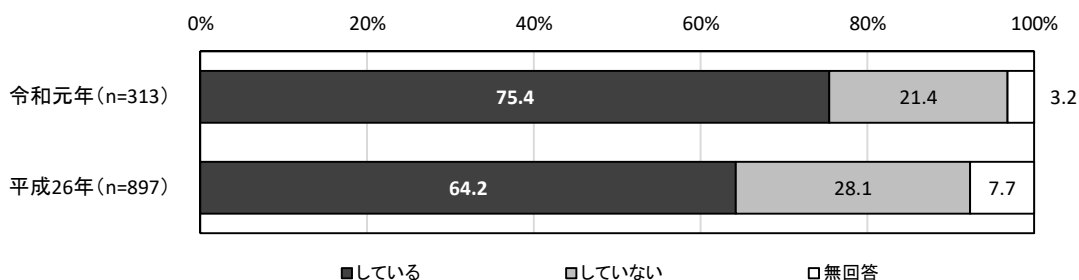


4. 日頃の行動などについて

(1) 環境に配慮した生活の実践

環境に配慮した生活をしている方は75.4%を占めています。平成26年調査と比べると、「している」と回答した方は11.2ポイント増加しています。

問5 ①あなたは、環境美化や水質浄化、省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別、年齢階級別でも、大きな差異はみられません。

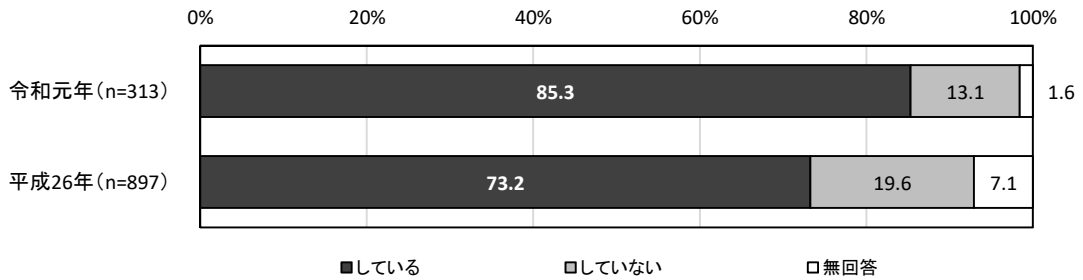
		n	している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		313	75.4	21.4	3.2
性別	男性	129	72.9	27.1	0.0
	女性	174	77.6	17.2	5.2
年齢	20代以下	30	86.7	10.0	3.3
	30代	37	67.6	32.4	0.0
	40代	48	75.0	25.0	0.0
	50代	62	69.4	27.4	3.2
	60代	62	77.4	21.0	1.6
	70歳以上	66	80.3	10.6	9.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) ごみの減量化のための3R運動の実践

ごみの減量化のために3R運動をしている方は85.3%を占めています。平成26年調査と比べると、「している」と回答した方は12.1ポイント増加しています。

問5 ②あなたは、ごみの減量化のため、3R運動（リデュース：発生抑止、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。 (1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも大きな差異はみられません。

○年齢階級別で見ると、どの年代も「している」方が多くなっていますが、30代は75.7%で他の年代に比べるとやや少ない状況です。

		n	している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		313	85.3	13.1	1.6
性別	男性	129	86.0	13.2	0.8
	女性	174	84.5	13.2	2.3
年齢	20代以下	30	90.0	10.0	0.0
	30代	37	75.7	24.3	0.0
	40代	48	91.7	8.3	0.0
	50代	62	85.5	11.3	3.2
	60代	62	85.5	11.3	3.2
	70歳以上	66	86.4	12.1	1.5

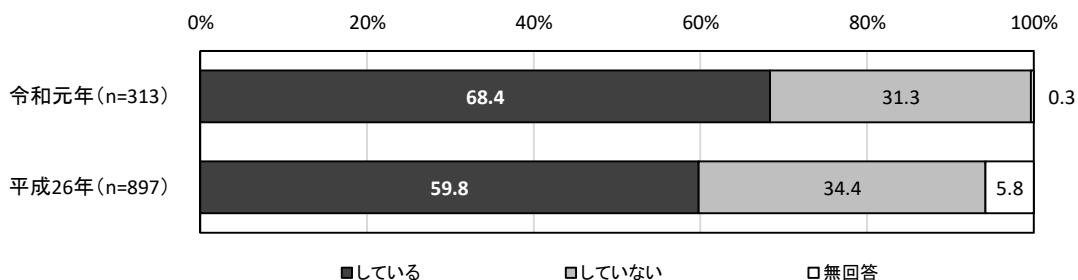
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 日頃の健康増進のための取組の実施

日頃の健康増進のための取組をしている方は、68.4%となっています。平成26年調査と比べると、「している」と回答した方は8.6ポイント増加しています。

問5 ③あなたは、日頃、健康増進のための取組（食生活の改善や運動など）をしていますか。

(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性よりも女性の方が健康増進のための取組を「している」方がやや多くなっています。

○年齢階級別でみると、30代は「している」方が45.9%で他の年代に比べ非常に少ない状況です。

		n	している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		313	68.4	31.3	0.3
性別	男性	129	65.1	34.9	0.0
	女性	174	70.7	28.7	0.6
年齢	20代以下	30	66.7	33.3	0.0
	30代	37	45.9	54.1	0.0
	40代	48	68.8	31.3	0.0
	50代	62	69.4	30.6	0.0
	60代	62	72.6	27.4	0.0
	70歳以上	66	80.3	18.2	1.5

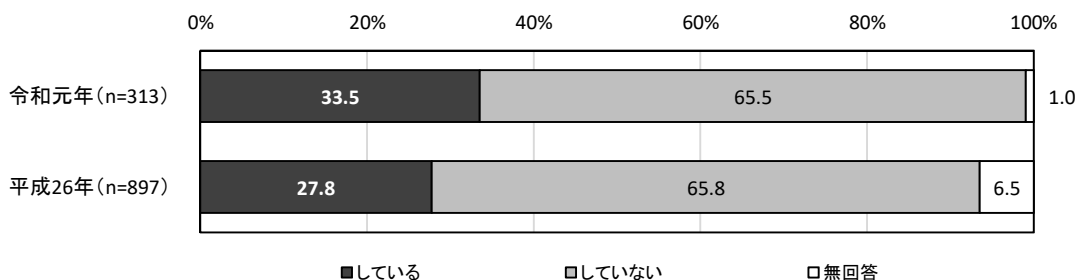
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 地域福祉活動の実施

地域活動に参加している方は33.5%で少ないものの、平成26年調査よりも5.7ポイント増加しています。

問5 ④あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。

(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも地域福祉活動に参加している方は少なく、大きな差異はみられません。

○年齢階級別で見ると、20代以下は地域福祉活動に参加している方は40.0%で少ないものの、他の年代に比べ最も多くなっています。

		n	している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		313	33.5	65.5	1.0
性別	男性	129	31.0	69.0	0.0
	女性	174	36.8	61.5	1.7
年齢	20代以下	30	40.0	60.0	0.0
	30代	37	24.3	75.7	0.0
	40代	48	39.6	60.4	0.0
	50代	62	37.1	62.9	0.0
	60代	62	37.1	61.3	1.6
	70歳以上	66	27.3	69.7	3.0

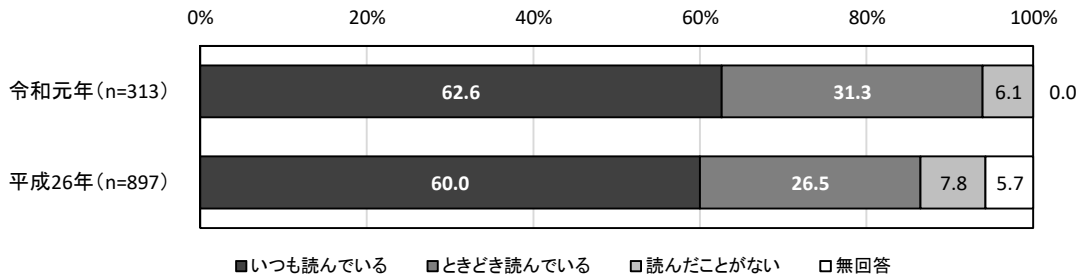
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(5) 広報「花と里つきがた」を読むこと

広報「花と里つきがた」を「いつも読んでいる」「ときどき読んでいる」方の合計は、93.9%を占めています。平成26年調査と比べると7.4ポイント増加しています。

問5 あなたは、広報「花の里つきがた」を読んでいますか。

(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別、年齢階級別にみても大きな差異はみられません。

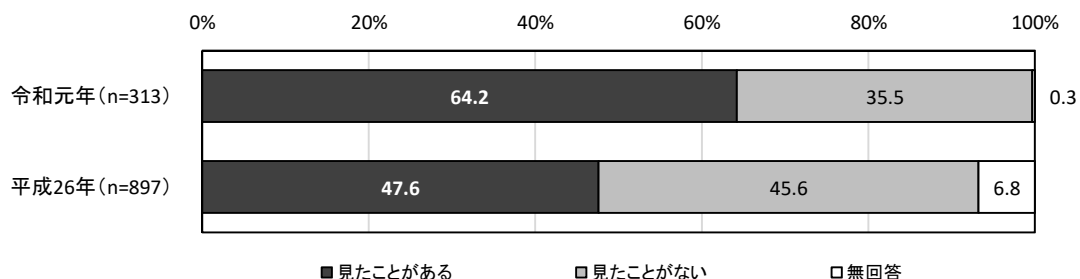
		n	いつも読んでいる	ときどき読んでいる	読んだことがない	無回答
全 体		313	62.6	31.3	6.1	0.0
性別	男 性	129	59.7	31.0	9.3	0.0
	女 性	174	63.8	32.8	3.4	0.0
年 齢	20代以下	30	40.0	50.0	10.0	0.0
	30代	37	48.6	45.9	5.4	0.0
	40代	48	75.0	20.8	4.2	0.0
	50代	62	66.1	24.2	9.7	0.0
	60代	62	64.5	33.9	1.6	0.0
	70歳以上	66	68.2	27.3	4.5	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(6) 町のホームページを見たこと

町のホームページを見たことがある方は64.2%となっており、平成26年調査と比べると16.6ポイント増加しています。

問5 ⑥あなたは、町のホームページを見たことがありますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも大きな差異はみられません。

○年齢階級別にみると、70歳以上は「見たことがない」が71.2%で最も多くなっています。

		n	見たことがある (%)	見たことがない (%)	無回答 (%)
全体		313	64.2	35.5	0.3
性別	男性	129	67.4	32.6	0.0
	女性	174	62.1	37.4	0.6
年齢	20代以下	30	80.0	20.0	0.0
	30代	37	83.8	16.2	0.0
	40代	48	87.5	12.5	0.0
	50代	62	77.4	22.6	0.0
	60代	62	53.2	46.8	0.0
	70歳以上	66	27.3	71.2	1.5

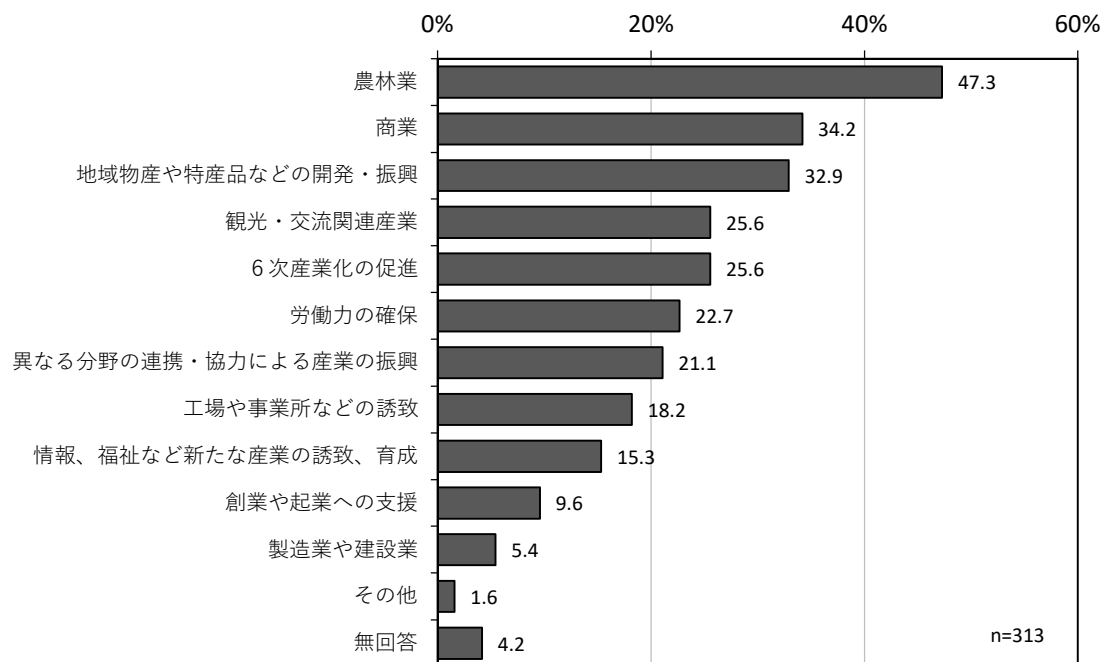
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

5. 産業振興について

(1) 産業振興で力を入れるべき分野

今後、産業振興で力を入れるべき分野は、「農林業」が47.3%で最も多く、次いで「商業」(34.2%)、「地域物産や特産品などの開発・振興」(32.9%)で続いています。

問6 今後、月形町の産業の振興について、どの分野に力を入れるべきと考えますか。(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性は「労働力の確保」が女性よりも13.8ポイント高く、女性は「観光・交流関連産業」が男性よりも11.9ポイント高くなっています。

○年齢階級別でみると、20代以下、30代は「商業」が多く、40代以上は「農林業」が多くなっています。

(%)

		n	農林業	商業	製造業や建設業	工場や事業所などの誘致	情報、福祉など新たな産業の誘致、育成	観光・交流関連産業
全体		313	47.3	34.2	5.4	18.2	15.3	25.6
性別	男性	129	51.9	31.0	7.0	24.0	18.6	18.6
	女性	174	43.1	37.9	4.0	14.4	13.8	30.5
年齢	20代以下	30	33.3	43.3	0.0	20.0	13.3	43.3
	30代	37	37.8	48.6	5.4	10.8	10.8	40.5
	40代	48	47.9	37.5	0.0	8.3	12.5	35.4
	50代	62	48.4	24.2	6.5	25.8	17.7	16.1
	60代	62	61.3	35.5	4.8	19.4	12.9	21.0
	70歳以上	66	43.9	30.3	12.1	21.2	21.2	13.6

		n	6次産業化の促進	地域物産や特産品などの開発・振興	異なる分野の連携・協力による産業の振興	創業や起業への支援	労働力の確保	その他
全体		313	25.6	32.9	21.1	9.6	22.7	1.6
性別	男性	129	29.5	31.8	18.6	12.4	31.0	1.6
	女性	174	21.8	33.3	23.0	7.5	17.2	1.7
年齢	20代以下	30	13.3	36.7	16.7	16.7	36.7	0.0
	30代	37	21.6	37.8	16.2	13.5	18.9	0.0
	40代	48	37.5	45.8	22.9	18.8	12.5	4.2
	50代	62	30.6	37.1	27.4	11.3	21.0	0.0
	60代	62	24.2	27.4	24.2	3.2	35.5	1.6
	70歳以上	66	21.2	21.2	18.2	1.5	15.2	1.5

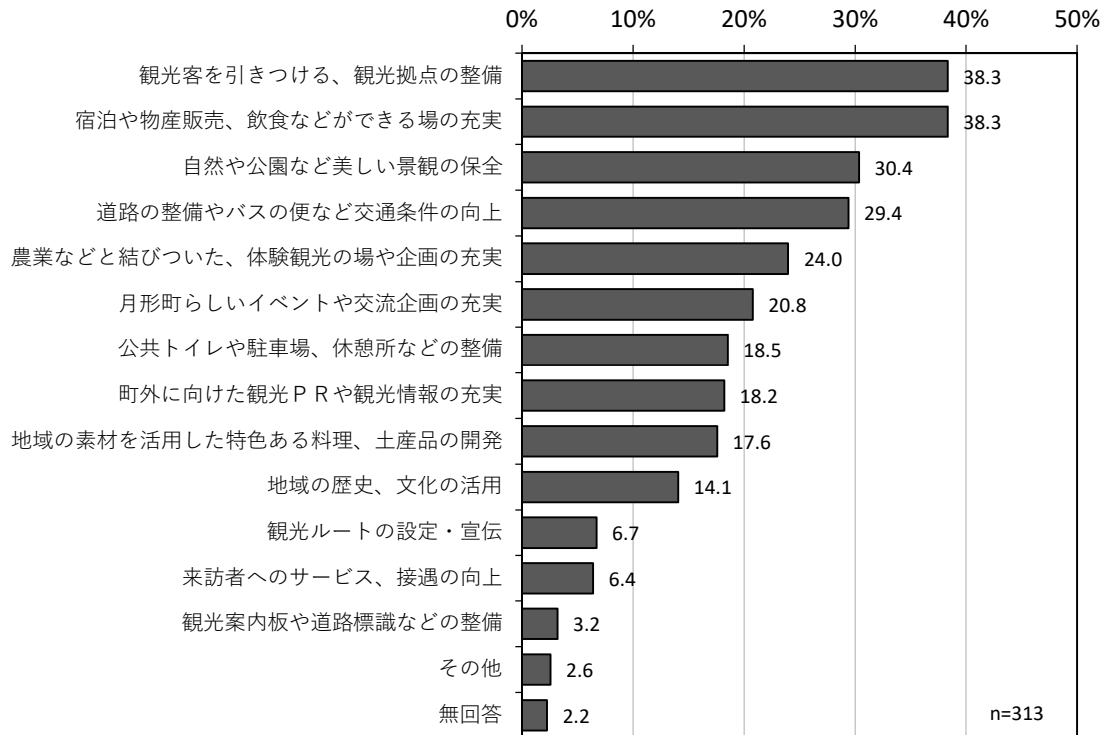
		n	無回答
全体		313	4.2
性別	男性	129	1.6
	女性	174	6.3
年齢	20代以下	30	0.0
	30代	37	2.7
	40代	48	0.0
	50代	62	1.6
	60代	62	3.2
	70歳以上	66	13.6

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 観光・交流の振興に重要なこと

町の観光・交流の振興に重要なことは、「観光客を引きつける、観光拠点の整備」「宿泊や物産販売、飲食などができる場の充実」がともに38.3%で最も多く、次いで「自然や公園など美しい景観の保全」(30.4%)、「道路の整備やバスの便など交通条件の向上」(29.4%)が続いています。

問7 あなたは、月形町の観光・交流の振興に向けて、どのようなことが重要だと思いますか。
(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、おおむね同じ傾向となっており、大きな差異はみられません。

○年齢階級別でみると、70歳以上は「道路の整備やバスの便など交通条件の向上」が40.9%で他の年代に比べ最も多くなっています。

(%)

		n	自然や公園など美しい景観の保全	農業などと結びついた、体験観光の場や企画の充実	地域の歴史、文化の活用	観光客を引きつける、観光拠点の整備	宿泊や物産販売、飲食などができる場の充実	公共トイレや駐車場、休憩所などの整備
全 体		313	30.4	24.0	14.1	38.3	38.3	18.5
性別	男 性	129	27.1	23.3	17.8	36.4	38.8	20.2
	女 性	174	33.3	24.7	12.1	39.1	39.1	17.8
年 齢	20代以下	30	36.7	13.3	16.7	40.0	46.7	20.0
	30代	37	32.4	27.0	13.5	59.5	27.0	8.1
	40代	48	33.3	25.0	25.0	41.7	37.5	27.1
	50代	62	30.6	22.6	8.1	37.1	40.3	17.7
	60代	62	27.4	33.9	17.7	30.6	41.9	21.0
	70歳以上	66	25.8	21.2	9.1	28.8	34.8	16.7

		n	観光ルート の設定・宣伝	観光案内板 や道路標識 などの整備	道路の整備 やバスの便 など交通条 件の向上	地域の素材 を活用した 特色ある料 理、土産品の 開発	月形町らし いイベント や交流企画 の充実	来訪者への サービス、接 遇の向上
全 体		313	6.7	3.2	29.4	17.6	20.8	6.4
性別	男 性	129	7.0	3.9	27.1	23.3	20.2	8.5
	女 性	174	6.3	2.9	31.6	13.2	21.3	4.6
年 齢	20代以下	30	6.7	3.3	33.3	16.7	26.7	3.3
	30代	37	8.1	5.4	21.6	18.9	27.0	10.8
	40代	48	8.3	4.2	14.6	27.1	20.8	8.3
	50代	62	1.6	0.0	27.4	21.0	17.7	11.3
	60代	62	9.7	6.5	35.5	16.1	21.0	1.6
	70歳以上	66	7.6	1.5	40.9	7.6	18.2	3.0

		n	町外に向け た観光PR や観光情報 の充実	その他	無回答
全 体		313	18.2	2.6	2.2
性別	男 性	129	19.4	3.9	0.8
	女 性	174	16.7	1.7	3.4
年 齢	20代以下	30	13.3	0.0	0.0
	30代	37	27.0	2.7	0.0
	40代	48	14.6	2.1	0.0
	50代	62	22.6	6.5	0.0
	60代	62	16.1	0.0	1.6
	70歳以上	66	16.7	3.0	9.1

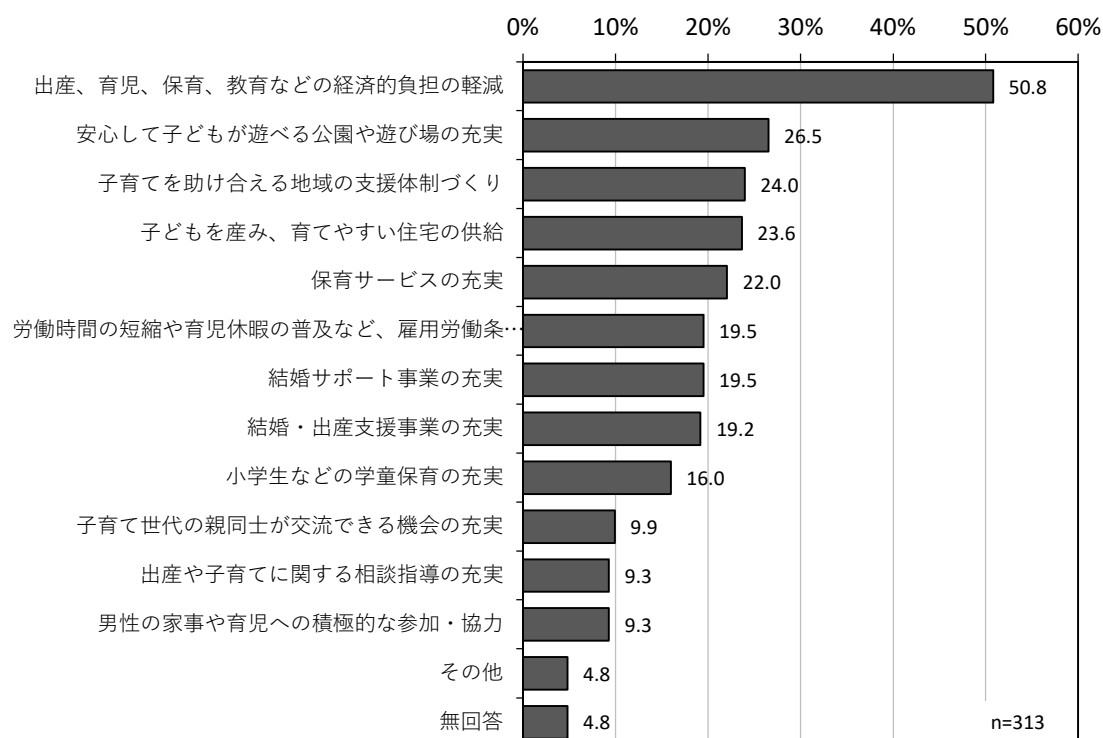
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

6. 少子化対策について

(1) 少子化対策として力を入れるべき分野

少子化対策として、今後力を入れるべき分野は、「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」が50.8%で最も多く、次いで「安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実」(26.5%)、「子育てを助け合える地域の支援体制づくり」(24.0%)が続いています。

問8 少子化対策として、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えですか。(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性は「結婚・出産支援事業の充実」が女性よりも13.3ポイント高く、女性は「子どもを産み、育てやすい住宅の供給」が男性よりも8.2ポイント高くなっています。

○年齢階級別でみると、30代は「保育サービスの充実」、50代、60代は「子育てを助け合える地域の支援体制づくり」が他の年代に比べて多くなっています。

(%)

		n	保育サービスの充実	小学生などの学童保育の充実	安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実	出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減	出産や子育てに関する相談指導の充実	子育て世代の親同士が交流できる機会の充実
全体		313	22.0	16.0	26.5	50.8	9.3	9.9
性別	男性	129	24.8	17.8	28.7	51.2	7.8	10.1
	女性	174	20.7	14.4	24.7	50.6	10.9	9.8
年齢	20代以下	30	16.7	13.3	30.0	53.3	16.7	0.0
	30代	37	35.1	13.5	35.1	67.6	10.8	8.1
	40代	48	25.0	18.8	35.4	45.8	8.3	8.3
	50代	62	24.2	12.9	16.1	58.1	12.9	8.1
	60代	62	21.0	22.6	19.4	50.0	3.2	12.9
	70歳以上	66	12.1	12.1	33.3	37.9	9.1	15.2

		n	子育てを助け合える地域の支援体制づくり	労働時間の短縮や育児休暇の普及など、雇用労働条件の改善	子どもを産み、育てやすい住宅の供給	男性の家事や育児への積極的な参加・協力	結婚・出産支援事業の充実	結婚サポート事業の充実
全体		313	24.0	19.5	23.6	9.3	19.2	19.5
性別	男性	129	21.7	18.6	19.4	3.9	27.1	17.8
	女性	174	24.7	19.5	27.6	13.8	13.8	20.7
年齢	20代以下	30	10.0	36.7	33.3	10.0	30.0	20.0
	30代	37	5.4	13.5	21.6	10.8	27.0	13.5
	40代	48	27.1	18.8	31.3	8.3	16.7	20.8
	50代	62	35.5	17.7	29.0	4.8	24.2	12.9
	60代	62	37.1	19.4	21.0	9.7	12.9	24.2
	70歳以上	66	15.2	18.2	12.1	12.1	13.6	24.2

		n	その他	無回答
全体		313	4.8	4.8
性別	男性	129	7.0	5.4
	女性	174	3.4	4.0
年齢	20代以下	30	3.3	0.0
	30代	37	5.4	0.0
	40代	48	6.3	0.0
	50代	62	8.1	1.6
	60代	62	1.6	6.5
	70歳以上	66	3.0	15.2

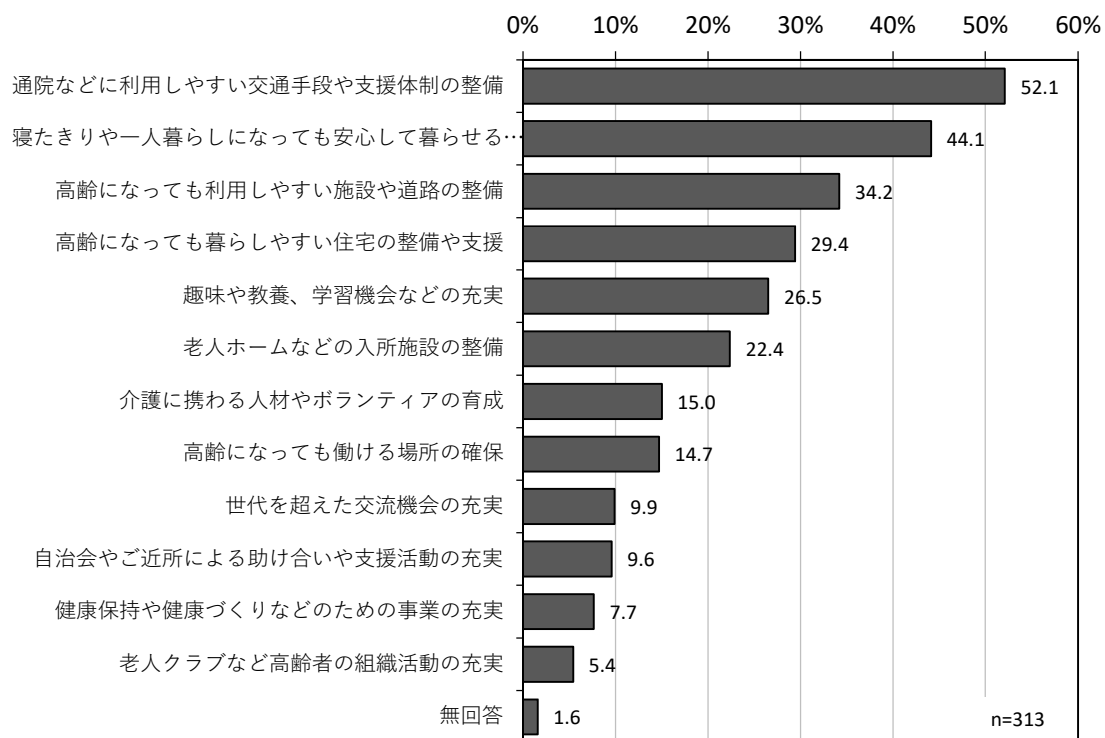
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

7. 高齢者福祉について

(1) 充実した老後を送るために大切なこと

充実した老後を送るために大切なことは、「通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備」が52.1%で最も多く、次いで「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」(44.1%)、「高齢になっても利用しやすい施設や道路の整備」(34.2%)で続いています。

問9 健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、今後、何が大切だと思いますか。
(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、おおむね傾向は同じですが、上位回答である「通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備」「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」は男性よりも女性の方が約10ポイント高い状況です。

○年齢階級別でみると、20代以下、30代、40代は「趣味や教養、学習機会などの充実」が多くなっています。また、20代以下は「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」が63.3%で他の年代に比べ最も多くなっています。

(%)

		n	趣味や教養、 学習機会など の充実	高齢になっ ても利用しやす い施設や道路 の整備	世代を超え た交流機会 の充実	寝たきりや 一人暮らし になっても 安心して暮 らせる福祉 サービスの 充実	介護に携わ る人材やボ ランティア の育成	高齢になっ ても暮らしやす い住宅の整備 や支援
全 体		313	26.5	34.2	9.9	44.1	15.0	29.4
性別	男 性	129	25.6	35.7	10.9	38.0	17.8	26.4
	女 性	174	26.4	34.5	9.2	48.9	12.6	31.6
年 齢	20 代以下	30	46.7	23.3	16.7	63.3	13.3	23.3
	30 代	37	37.8	37.8	5.4	21.6	13.5	27.0
	40 代	48	37.5	29.2	10.4	31.3	12.5	31.3
	50 代	62	17.7	35.5	12.9	37.1	19.4	40.3
	60 代	62	22.6	48.4	9.7	53.2	14.5	27.4
	70 歳以上	66	12.1	30.3	4.5	56.1	15.2	24.2

		n	健康保持や健 康づくりなど のための事業 の充実	老人ホーム などの入所 施設の整備	通院などに 利用しやす い交通手段 や支援体制 の整備	高齢になっ ても働ける 場所の確保	自治会やご 近所による 助け合いや 支援活動の 充実	老人クラブ など高齢者 の組織活動 の充実
全 体		313	7.7	22.4	52.1	14.7	9.6	5.4
性別	男 性	129	10.1	20.2	48.1	16.3	7.8	4.7
	女 性	174	6.3	24.1	56.3	12.6	10.9	6.3
年 齢	20 代以下	30	10.0	23.3	30.0	10.0	6.7	10.0
	30 代	37	2.7	24.3	48.6	21.6	0.0	2.7
	40 代	48	14.6	20.8	58.3	16.7	12.5	6.3
	50 代	62	8.1	21.0	54.8	17.7	8.1	6.5
	60 代	62	6.5	19.4	50.0	14.5	11.3	4.8
	70 歳以上	66	6.1	27.3	60.6	7.6	13.6	4.5

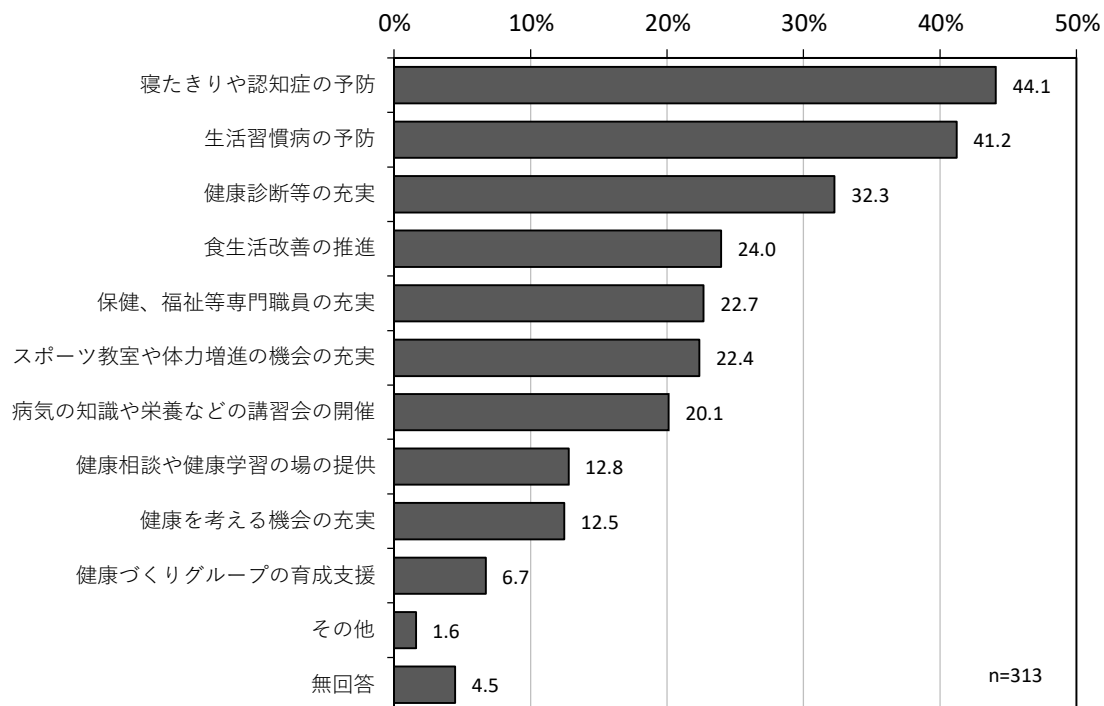
		n	無回答
全 体		313	1.6
性別	男 性	129	2.3
	女 性	174	1.1
年 齢	20 代以下	30	0.0
	30 代	37	5.4
	40 代	48	0.0
	50 代	62	0.0
	60 代	62	1.6
	70 歳以上	66	3.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 町民が健康な生活を送るために大切なこと

今後、町民が健康な生活を送るために大切なことは、「寝たきりや認知症の予防」が44.1%で最も多く、次いで「生活習慣病の予防」(41.2%)、「健康診断等の充実」(32.3%)が続いています。

問 10 町民が健康な生活を送るためには、今後、何が大切だと思いますか。 (3つまで〇印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、女性は「寝たきりや認知症の予防」が男性よりも18.4ポイント高く半数を占めています。

○年齢階級別でみると、50代までは「健康診断等の充実」が多く、60代以上は「食生活改善の推進」が多くなっています。

(%)

		n	生活習慣病の予防	寝たきりや認知症の予防	食生活改善の推進	健康診断等の充実	健康相談や健康学習の場の提供	スポーツ教室や体力増進の機会の充実
全体		313	41.2	44.1	24.0	32.3	12.8	22.4
性別	男性	129	43.4	33.3	27.1	36.4	11.6	26.4
	女性	174	39.1	51.7	21.3	30.5	13.8	20.7
年齢	20代以下	30	26.7	46.7	26.7	36.7	20.0	43.3
	30代	37	43.2	32.4	10.8	37.8	13.5	27.0
	40代	48	33.3	41.7	22.9	41.7	10.4	33.3
	50代	62	33.9	50.0	11.3	46.8	14.5	22.6
	60代	62	53.2	35.5	32.3	25.8	11.3	16.1
	70歳以上	66	47.0	54.5	30.3	15.2	12.1	10.6

		n	健康づくりグループの育成支援	健康を考える機会の充実	病気の知識や栄養などの講習会の開催	保健、福祉等専門職員の充実	その他	無回答
全体		313	6.7	12.5	20.1	22.7	1.6	4.5
性別	男性	129	4.7	14.7	14.0	30.2	3.1	6.2
	女性	174	8.0	11.5	23.6	18.4	0.6	2.9
年齢	20代以下	30	3.3	3.3	26.7	16.7	0.0	3.3
	30代	37	2.7	10.8	18.9	21.6	8.1	2.7
	40代	48	6.3	18.8	16.7	27.1	0.0	0.0
	50代	62	9.7	17.7	14.5	30.6	0.0	1.6
	60代	62	8.1	19.4	17.7	25.8	1.6	6.5
	70歳以上	66	7.6	3.0	28.8	13.6	1.5	9.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

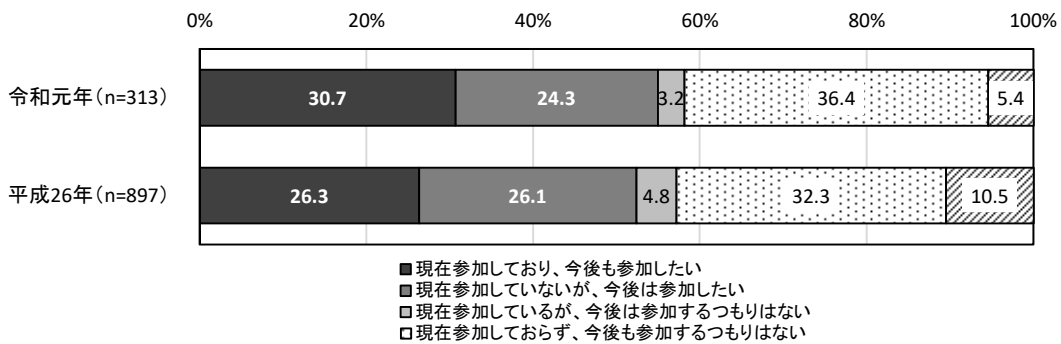
8. コミュニティ活動、参画・協働について

(1) コミュニティ活動等への参加状況と今後の参加意向

コミュニティ活動等への参加状況と今後の参加意向は、現在コミュニティ活動等に参加している方は33.9%と少ない状況です。また、「現在参加しており、今後も参加したい」「現在参加していないが、今後は参加したい」と参加意向のある方の合計は55.0%となっています。

平成26年調査と比べても、大きな差異はみられません。

問 11 あなたの現在のコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印）



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも、全体と傾向は同じとなり大きな差異はみられません。

○年齢階級別で見ると、40代は、現在参加している方、及び今後参加したいと回答している方が他の年代に比べ最も多くなっています。一方、30代は、現在参加している方が18.9%、今後参加したいと回答している方を含めても37.8%で、他の年代に比べて非常に少ない状況です。

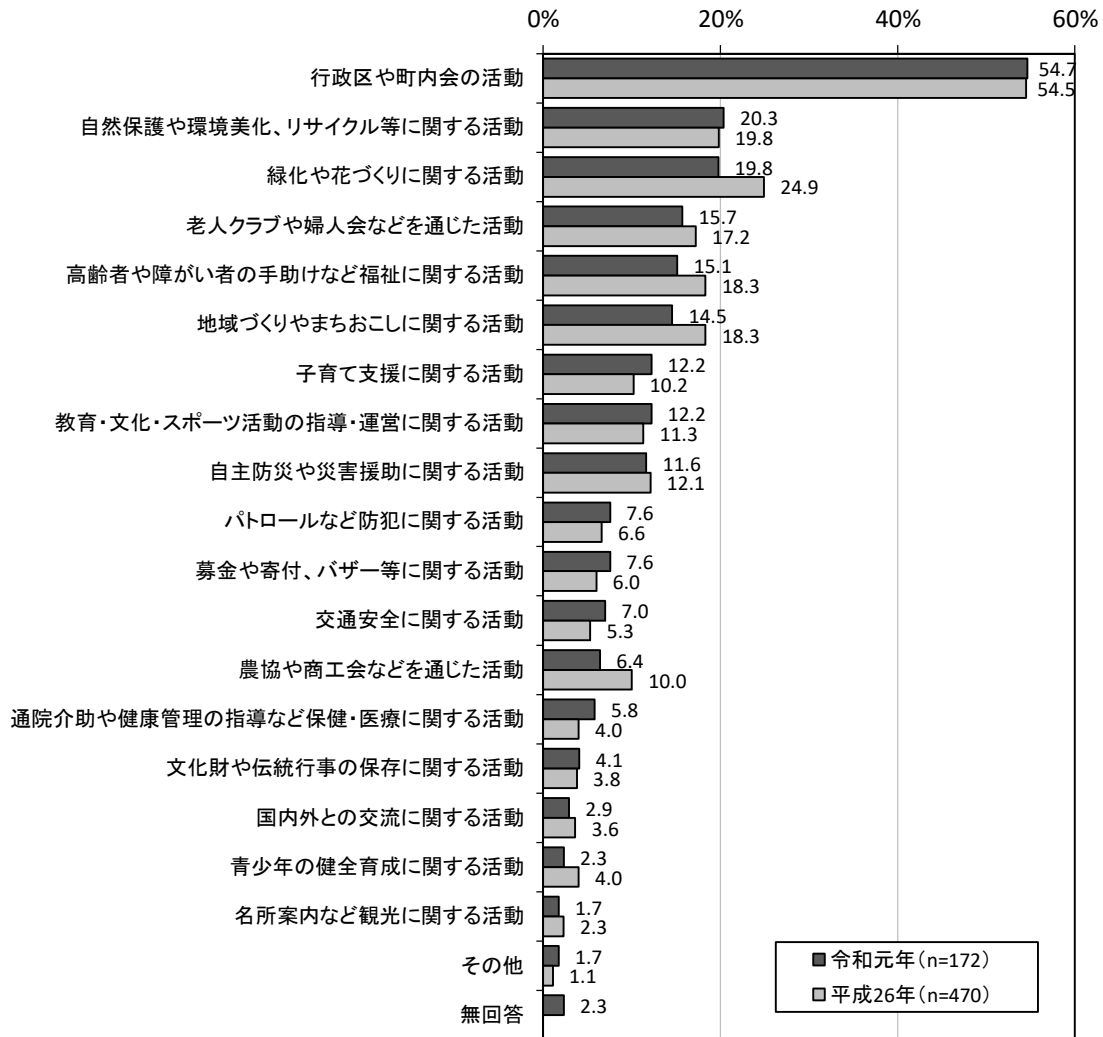
		n	現在参加しており、今後も参加したい	現在参加していないが、今後は参加したい	現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	無回答
全体		313	30.7	24.3	3.2	36.4	5.4
性別	男性	129	34.9	18.6	1.6	41.9	3.1
	女性	174	28.7	27.0	4.6	32.2	7.5
年齢	20代以下	30	23.3	30.0	0.0	43.3	3.3
	30代	37	18.9	18.9	0.0	62.2	0.0
	40代	48	41.7	27.1	4.2	25.0	2.1
	50代	62	37.1	27.4	1.6	30.6	3.2
	60代	62	29.0	24.2	8.1	33.9	4.8
	70歳以上	66	28.8	19.7	3.0	33.3	15.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 参加したいコミュニティ活動等の種類

今後参加したいコミュニティ活動は、「行政区や町内会の活動」が54.7%で最も多く、次いで「自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動」(20.3%)、「緑化や花づくりに関する活動」(19.8%)で続いています。平成26年調査と比べると、おおむね傾向は同じとなっています。

問 11-1 あなたは、今後(今後とも)どのようなコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動に参加したいと思いますか。(3つまで○印)



【その他の内容】

- ・趣味に向き合える町(商店街のある町)。
- ・店が多く、人が集まりやすい豊かなまち。

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性は「行政区や町内会の活動」が女性よりも21.7ポイント高くなっています。女性は「老人クラブや婦人会などを通じた活動」が19.4ポイント、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が17.3ポイント男性よりも高くなっています。

○年齢階級別でみると、20代以下は「地域づくりやまちおこしに関する活動」が50.0%で他の年代に比べ最も多くなっています。40代以降は「行政区や町内会の活動」が60%前後と多い状況です。

(%)

		n	行政区や町内会の活動	農協や商工会などを通じた活動	老人クラブや婦人会などを通じた活動	自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動
全体		172	54.7	6.4	15.7	20.3
性別	男性	69	68.1	8.7	4.3	17.4
	女性	97	46.4	4.1	23.7	22.7
年齢	20代以下	16	37.5	0.0	0.0	25.0
	30代	14	35.7	0.0	0.0	0.0
	40代	33	57.6	12.1	3.0	21.2
	50代	40	55.0	5.0	12.5	22.5
	60代	33	60.6	9.1	27.3	15.2
	70歳以上	32	62.5	6.3	37.5	28.1

		n	緑化や花づくりに関する活動	自主防災や災害援助に関する活動	交通安全に関する活動	パトロールなど防犯に関する活動
全体		172	19.8	11.6	7.0	7.6
性別	男性	69	15.9	11.6	10.1	11.6
	女性	97	22.7	12.4	5.2	5.2
年齢	20代以下	16	25.0	12.5	6.3	12.5
	30代	14	0.0	7.1	14.3	21.4
	40代	33	12.1	21.2	9.1	9.1
	50代	40	17.5	15.0	7.5	2.5
	60代	33	33.3	12.1	3.0	9.1
	70歳以上	32	25.0	0.0	3.1	3.1

		n	通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動	子育て支援に関する活動	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
全体		172	5.8	12.2	15.1	12.2
性別	男性	69	4.3	8.7	4.3	20.3
	女性	97	6.2	15.5	21.6	7.2
年齢	20代以下	16	6.3	18.8	25.0	6.3
	30代	14	0.0	21.4	7.1	35.7
	40代	33	0.0	18.2	18.2	9.1
	50代	40	5.0	15.0	10.0	22.5
	60代	33	9.1	6.1	12.1	3.0
	70歳以上	32	9.4	0.0	21.9	6.3

		n	青少年の健全育成に関する活動	文化財や伝統行事の保存に関する活動	国内外との交流に関する活動	名所案内など観光に関する活動
全 体		172	2.3	4.1	2.9	1.7
性別	男 性	69	4.3	4.3	2.9	1.4
	女 性	97	1.0	4.1	3.1	2.1
年齢	20代以下	16	0.0	12.5	12.5	0.0
	30代	14	0.0	7.1	7.1	7.1
	40代	33	3.0	3.0	3.0	0.0
	50代	40	2.5	7.5	0.0	5.0
	60代	33	6.1	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	32	0.0	0.0	3.1	0.0

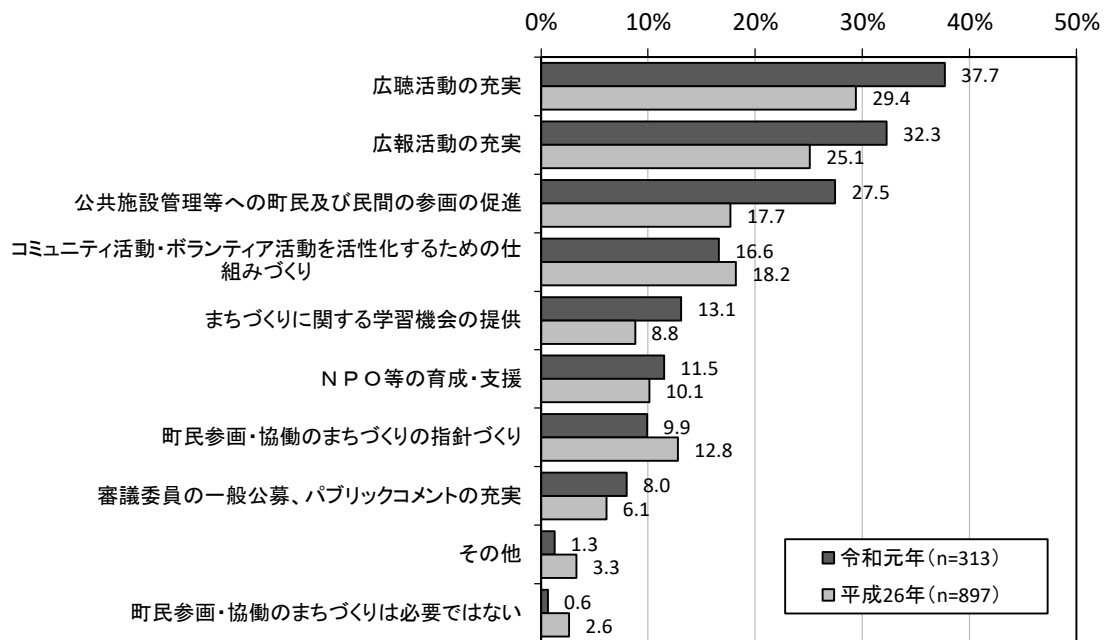
		n	募金や寄付、バザー等に関する活動	地域づくりやまちおこしに関する活動	その他	無回答
全 体		172	7.6	14.5	1.7	2.3
性別	男 性	69	8.7	15.9	1.4	2.9
	女 性	97	6.2	14.4	2.1	2.1
年齢	20代以下	16	12.5	50.0	0.0	6.3
	30代	14	0.0	7.1	0.0	0.0
	40代	33	0.0	24.2	3.0	0.0
	50代	40	5.0	7.5	2.5	2.5
	60代	33	15.2	6.1	0.0	3.0
	70歳以上	32	9.4	9.4	3.1	3.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なこと

「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なことは、「広聴活動の充実」が37.7%で最も多く、次いで「広報活動の充実」(32.3%)、「公共施設管理等への町民及び民間の参画の促進」(27.5%)で続いています。平成26年調査と比べると、上位3項目の割合はおよそ10ポイント増加しています。

問 12 これからのまちづくりにおいては、より多くの町民の皆様が町政に参画し、行政と協力して課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために行政として必要なことは何だと思いませんか。(2つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに上位項目は同じですが、男性は「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への町民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」が女性よりも12.5ポイント高くなっています。

○年齢階級別でみると、70歳以上は「的確迅速な行政情報の提供・公開のための広報活動の充実」が19.7%で他の年代に比べ非常に少なくなっています。

(%)

		n	的確迅速な行政情報の提供・公開のための広報活動の充実	できるだけ多くの町民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実	講座や教室の開催等を通じたまちづくりに関する学習機会の提供	コミュニティ活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり
全体		313	32.3	37.7	13.1	16.6
性別	男性	129	28.7	41.1	10.9	14.7
	女性	174	35.1	34.5	14.9	19.0
年齢	20代以下	30	36.7	43.3	13.3	16.7
	30代	37	35.1	40.5	5.4	2.7
	40代	48	39.6	33.3	14.6	18.8
	50代	62	29.0	32.3	11.3	29.0
	60代	62	41.9	41.9	16.1	12.9
	70歳以上	66	19.7	39.4	13.6	15.2

		n	町民参画・協働のまちづくりの方向性や基本的な役割分担等を定めた指針づくり	各種行政計画策定の際の審議委員の一般公募、パブリックコメントの充実	公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への町民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり	新たなまちづくりの担い手としてのNPO等の育成・支援
全体		313	9.9	8.0	27.5	11.5
性別	男性	129	15.5	7.8	34.9	14.7
	女性	174	5.7	8.6	22.4	9.8
年齢	20代以下	30	13.3	3.3	30.0	16.7
	30代	37	2.7	8.1	21.6	16.2
	40代	48	12.5	14.6	31.3	18.8
	50代	62	11.3	6.5	33.9	14.5
	60代	62	14.5	6.5	37.1	3.2
	70歳以上	66	4.5	7.6	13.6	7.6

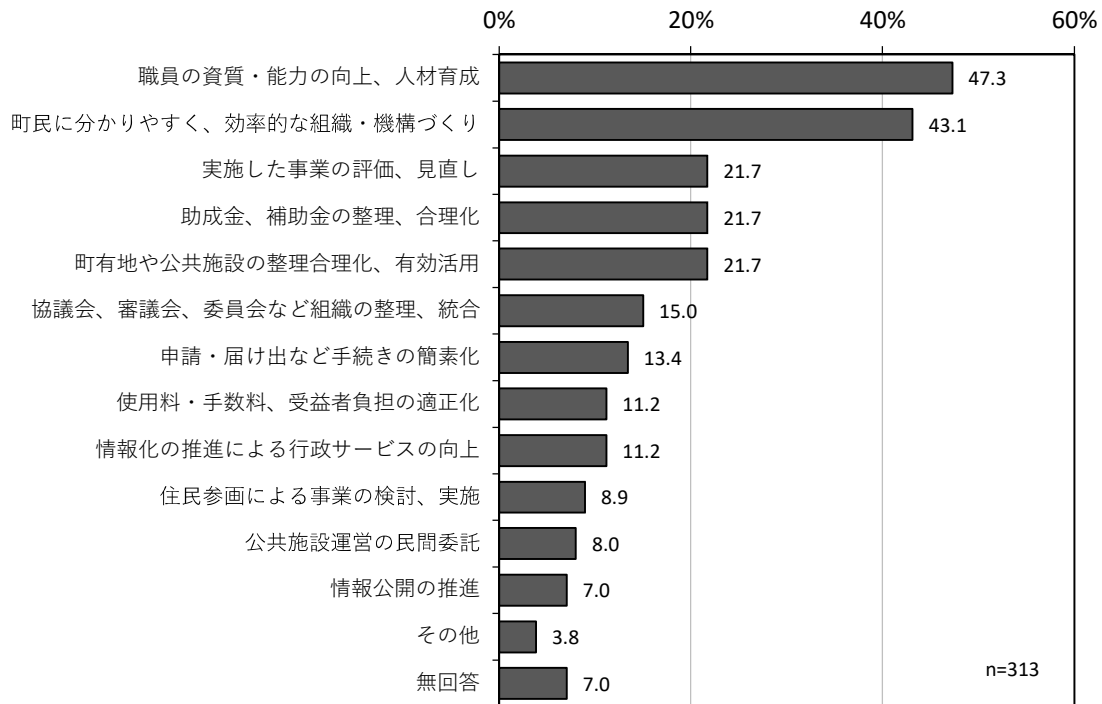
		n	町民参画・協働のまちづくりは必要ではない	その他	無回答
全体		313	0.6	1.3	11.8
性別	男性	129	1.6	1.6	7.8
	女性	174	0.0	0.6	13.8
年齢	20代以下	30	0.0	0.0	3.3
	30代	37	0.0	2.7	16.2
	40代	48	0.0	0.0	2.1
	50代	62	1.6	0.0	8.1
	60代	62	0.0	1.6	6.5
	70歳以上	66	1.5	3.0	27.3

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 行政サービスや財政運営で特に進めていくべき項目

今後、行政サービスや財政運営で特に進めていくべき項目は、「職員の資質・能力の向上、人材育成」が47.3%で最も多く、次いで「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」(43.1%)で続いています。

問 13 今後、行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目は何だと思えますか。
(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性は「実施した事業の評価、見直し」が9.3ポイント、「協議会、審議会、委員会など組織の整理、統合」が12.1ポイント女性よりも高くなっています。

○年齢階級別でみると、20代以下は「助成金、補助金の整理、合理化」、30代は「できるだけ多くの町民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実」、60代、70歳以上は「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」がそれぞれ他の年代に比べ最も多くなっています。

(%)

		n	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	職員の資質・能力の向上、人材育成	住民参画による事業の検討、実施	実施した事業の評価、見直し	助成金、補助金の整理、合理化
全体		313	43.1	47.3	8.9	21.7	21.7
性別	男性	129	41.1	49.6	8.5	27.1	22.5
	女性	174	43.1	46.0	9.8	17.8	21.8
年齢	20代以下	30	33.3	33.3	10.0	20.0	43.3
	30代	37	24.3	59.5	10.8	27.0	27.0
	40代	48	45.8	47.9	6.3	27.1	20.8
	50代	62	41.9	48.4	12.9	27.4	21.0
	60代	62	50.0	48.4	14.5	16.1	16.1
	70歳以上	66	50.0	42.4	1.5	15.2	16.7

		n	協議会、審議会、委員会など組織の整理、統合	公共施設運営の民間委託	町有地や公共施設の整理合理化、有効活用	使用料・手数料、受益者負担の適正化	情報化の推進による行政サービスの向上
全体		313	15.0	8.0	21.7	11.2	11.2
性別	男性	129	22.5	9.3	25.6	10.9	10.9
	女性	174	10.3	7.5	19.5	12.1	11.5
年齢	20代以下	30	13.3	10.0	16.7	16.7	3.3
	30代	37	8.1	5.4	16.2	8.1	10.8
	40代	48	22.9	16.7	25.0	8.3	8.3
	50代	62	14.5	11.3	24.2	11.3	16.1
	60代	62	21.0	4.8	27.4	16.1	8.1
	70歳以上	66	7.6	3.0	19.7	7.6	15.2

		n	申請・届け出など手続きの簡素化	情報公開の推進	その他	無回答
全体		313	13.4	7.0	3.8	7.0
性別	男性	129	11.6	6.2	4.7	3.9
	女性	174	15.5	8.0	2.9	8.0
年齢	20代以下	30	16.7	6.7	10.0	3.3
	30代	37	13.5	5.4	2.7	2.7
	40代	48	14.6	4.2	4.2	2.1
	50代	62	6.5	6.5	3.2	4.8
	60代	62	14.5	11.3	1.6	6.5
	70歳以上	66	15.2	4.5	4.5	18.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目